

ALLEN & HEATH

Digital Mixing Console

**dLive/Avantis/
SQ Series/Qu Series**

Digital Audio Matrix Processor

AHM

Zone Mixer

GR4



Mission to just keep doing it better

音には、人間の本質的な何かを揺さぶるものがあります。

音は響きを伴い、
迫力あるパフォーマンスや体を突き抜ける心地よいサウンドはもちろん、
何が起こってもおかしくないという緊張感や高揚感をもたらします。

そんな音の渦中にあって
最も要求の厳しいライブシナリオに対応できる十分な処理能力と柔軟性を備えた
直感的かつ快適な「究極のミキシングシステム」を作ること。
これこそが、ALLEN & HEATHの設計目標です。

CONTENTS

dLive	p.04
Avantis	p.14
SQ	p.20
Qu	p.24
ME	p.34
AHM	p.36
IP	p.40
GR4	p.41





XCVI Core

最新のFPGA技術を使用したXCVI Coreは、コア内にある6つのパラレルミキシングエンジンによりサンプル毎に1万以上のクロスポイントを演算し、FPGAルーターは $3,000 \times 3,000$ のオーディオ・バスの処理能力を装備。96kHzのサンプリングレートで多チャンネルを駆使する十分なパワーを生み出します。可変ビット深度は究極の精度とノイズ軽減を講じ、高音質と0.7msの低レイテンシーを実現しています。

dLive



多彩なアプリケーションに 適したシステム

dLiveは、強力なプロセッシングと96kHzの高解像度で高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、本格的なライブや劇場でのショーに対応できるデジタル・ミキシングコンソールです。

また、シンプルなBGMや会議室から、教育施設、礼拝堂、会議場、観光施設など、あらゆる会場の音響を管理するツールを提供するサウンド・マネジメント・システムとしても機能します。

dLiveシステム

S Class / C Class



MixRack ([p.8, p.9](#))

必要に応じて

I/O拡張ユニット

([p.28~](#))



Networking Card

([p.19](#))



Surface

dLiveの設定、制御を行うコントローラー

Harmony User Interface

dLiveのサーフェスには、12インチの静電容量式タッチスクリーンを採用しています。ピンチ、スワイプ、ドラッグ＆ドロップに素早く反応し、直感的な操作が可能。エンジニアがミキシングに集中できるツールとなっています。

スクリーンを補完するのがロータリーコントロールで、スクリーンに表示される視覚的なフィードバックと調和しながら、ミキシングを創造性と即時性を持って触覚でコントロールできます。

ハイグリップ・ロータリーノブは正確なコントロールを可能にし、機能に応じて色がマッピングされたRGBイルミネーションを採用して視認性を高めています。また屋外など明るい場所でも高い視認性を維持します。



分かりやすいワークフロー

dLiveのサーフェスは、用途やエンジニアの感性に応じたカスタマイズが可能です。シーンやメーター、FXなどを管理するための独自の「ウィジェット」エリアを設置することもでき、作業効率が格段に向上します。



MixRack

dLiveのすべてのプロセッシングを実行するエンジン

DEEP Processing / Dyn8 / RackUltra/Extra FX

XCVI Coreの強力なプロセッシング能力により、数多くの音響効果を可能にするエフェクターやダイナミクスを内蔵しています。(→p.10,p.11)



優れた耐久性

dLive S Classのコントロール・サーフェスとミックスラックは、ハードなツアーリングにも対応できるよう軽量化のバランスを考慮しながらも耐久性高く設計されています。

システム全体のオーディオ接続にリダンダントが可能。複雑で厳しい条件の現場にもエレガントに対応します。また、ホットスワップ可能なPSU設計を採用しており、予備電源の装備も可能です。



dLiveは、高い評価を得ている
XCVI 96kHz FPGAプロセッシングを採用し、
強力なプロセッシングと高音質を実現する
サウンド・マネジメントシステムです。



新たな機能を追加した新モデルdLive V2.0 既存のdLiveを新モデルの能力に引き上げるMixRack用RackUltra FXカードが登場！

NEW



dLive V2.0は高度なワークフロー機能を付加したdLiveの機能強化モデルです。RackUltra FXカードは非常にクリエイティブなエフェクトを数多く搭載し、既存のdLiveに装着することでdLive V2.0の全機能を使用可能にします。このアップデートによりエンジニアはワークフローを大幅に改善し、あらゆるライブサウンド環境でミキシング体験を高めるツールを手に入れることができます。

RackUltra FXカードは、すべての新しいMixRackに標準装備され、既存のMixRackにもアップグレードキットとして提供されます。このカードを装着することでdLiveシステムに8つのRackUltra FXエンジン（ステレオ専用センド/リターンチャンネル、PEQ、ダイナミックプロセッシングを含む）を追加可能です。

RackUltra FXカードはカスタムFPGAコアとARMプロセッサーを組み合わせることでかつてないパワーを獲得しています。そのため、ライブ用コンソールではこれまで考えられなかった統合されたエフェクトを実装でき、dLiveは次世代のオンボードプロセッサーとして進化しています。RackUltra FXは市場で最も先進的なプラグインに匹敵する10の新アルゴリズムを搭載。シームレスで低レイテンシーなプロセッシングをライセンス不要で使用できます。プロ仕様のライブコンソールで、外部ハードウェアやサードパーティ製ソフトウェアを使用せずに、スタジオ品質のプロセッシングが可能になりました。（→p.11）



Component

必要なところにオーディオを提供

dLiveシステムは、オーディオが必要な場所に自由に配置することができます。ポータブルステージボックスから固定フォーマットのウォールパネルまで、様々な用途に対応したI/O拡張ユニットを用意しており、数十のオーディオポイントと数百の入出力を提供します。

各AudioRack間は最大100mのCATケーブルを使用でき、光ファイバーへの変更も可能。さらに、最大96台のリモートコントローラーをサポートしており、1つの部屋から最大規模のスペースまで、あらゆる会場に対応できます。

高度なネットワークに対応

dLiveシステムは、最大5つの128チャンネルI/Oポートを備え、業界標準プロトコル、GPIOインターフェース、包括的なTCP/IPコントローラーとプロトコルを採用。Danteインテグレーション、ブロードキャストフィード、マルチトラックレコーディング、ファイバーリンク、サードパーティコントロールなど、高度なオーディオネットワークに対応。時代の要求に応えるための装備を揃えています。

パーソナル・モニタリング・システムをアドオン

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。

明確でシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。

dLiveシステムとの親和性も高く、セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。（→p.34）



ユーザーフレンドリーなインターフェース

IPリモートコントローラーは、音量調整、音楽ソースの選択、プリセットの呼び出しなど、必要な要素へのアクセスをカスタマイズできるため、技術者でなくても簡単に操作できます。

また、DirectorソフトウェアやiPadアプリを使えば、移動中でも簡単に設定にアクセスできます。（→p.17）



■サーフェスレス・ミキシング

システムの中核のMixRackとソフトウェアで、従来のコントロールサーフェスを排除した究極のミキシングシステムを構築できます。コントローラーのサーフェスをなくすことで機材を減らせるため、ツアリングにおける総重量の軽量化やスペースの厳しい現場も対応可能。



dLive MixRackとdLive Directorが動作するPC、そしてタッチスクリーンのシステム。持ち運びや保管が簡単で、IP8リモート・コントローラーを追加することで、フェーダーによるミキシングの感覚を維持できます。

DLive S Class

Surface

ALLEN & HEATHデジタル・ミキシングコンソールのフラッグシップモデル。
快適なコントロールでミキシングに集中できる直感的なコントロールサーフェス。



S7000

オープンプライス

視認性と操作性を両立

- 2画面、36フェーダー、26ソフトキー
- 216のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 尺寸 (W×H×D) : 1325×413×728mm、質量：約41kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10037:ダストカバー

Option DL-S7FC:ライトケース

MPS16:電源ユニット

※出荷時は1台実装済み。電源二重化には

計2台必要。



S5000

オープンプライス

視認性とコンパクトさを追求

- 2画面、28フェーダー、26ソフトキー
- 168のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 尺寸 (W×H×D) : 1115×413×728mm、質量：約35kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10036:ダストカバー

Option DL-S5FC:ライトケース

MPS16:電源ユニット

※出荷時は1台実装済み。電源二重化には

計2台必要。



S3000

オープンプライス

省スペースかつパワフル

- 1画面、20フェーダー、26ソフトキー
- 120のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 尺寸 (W×H×D) : 870×413×728mm、質量：約28kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10035:ダストカバー

Option DL-S3FC:ライトケース

MPS16:電源ユニット

※出荷時は1台実装済み。電源二重化には

計2台必要。

S Class / C Class 比較表

	S Class			C Class		
	S7000	S5000	S3000	C3500	C2500	C1500
12インチタッチスクリーン	2	2	1	2	1	1
フェーダー	36	28	20	24	20	12
パンク	3	3	2	2	2	1
ソフトキー	26			19		
ユーザーインターフェース	EQ、ソフトローター、ブリアンプ、フィルター			EQ、ソフトローター	EQのみ	
入力	8マイク/ライン、2 AES3			6マイク/ライン、1 AES3		
出力	8ライン、3 AES3			6マイク/ライン、1 AES3		
gigaACEリダンダント	○			—	—	
DX Linkリダンダント	○			—	—	
PSU	リダンダント、ホットスワップ			単一、内蔵		
I/Oポート	2×128 I/O、96kHz			1×128 I/O、96kHz		

eLIVE C Class

Surface S Classと同等のエンジンパワーをコンパクトなポータブルフォーマットで実現。
スペースファクターの厳しい現場には、期待を裏切らないスマートチョイス。



C3500

オープンプライス

Cクラスで唯一2画面搭載

- 2画面、24フェーダー、19ソフトキー
 - 144のアサイナブル・フェーダーストリップ
 - 3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- 寸法 (W×H×D): 885×325×665mm、質量: 約28kg
 ※MixRackに接続して使用

付属品 AP10833: ダストカバー



C2500

オープンプライス

操作性に妥協しないパワフルモデル

- 1画面、20フェーダー、19ソフトキー
 - 120のアサイナブル・フェーダーストリップ
 - 3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- 寸法 (W×H×D): 775×325×665mm、質量: 約24.5kg
 ※MixRackに接続して使用

付属品 AP10832: ダストカバー



C1500

オープンプライス

優れた機動性を発揮するコンパクトモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
 - 72のアサイナブル・フェーダーストリップ
 - MixRackの収まるラックの上に収まるサイズで、優れた機能性を発揮
- 寸法 (W×H×D): 485×325×665mm、質量: 約18kg
 ※MixRackに接続して使用
- 付属品 AP10831: ダストカバー
 Option DL-DLC15-RK19: ラックマウントキット



CTi1500

オープンプライス

C1500に耐久性と軽量・コンパクト化を加えたモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
 - 本体わずか11.5kg
 - 軽量で耐久性に優れたチタン製のサイドパネルを採用
 - そのほかの部分も、強度を保ちながら徹底的に軽量化を実現
- 寸法 (W×H×D): 440×337×644mm、
 質量: 約11.5kg
 ※MixRackに接続して使用

付属品 なし

Option なし

※C1500用のラックマウントキットは装着できません

dLive S Class

MixRack

強力なプロセッシングと高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、リダンダント機能を施したフラッグシップdLive Sクラス用エンジン。



DM64

オープンプライス

アナログI/Oを多く備えたモデル

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

iPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
寸法(W×H×D):482.6×458×313mm、10U、質量:約21kg

Option DL-DM64-FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット ※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



DM48

オープンプライス

省スペースとアナログI/O数を確保

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

iPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
寸法(W×H×D):482.6×369×313mm、8U、質量:約17.5kg

Option DL-DM48-FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット ※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



DM32

オープンプライス

アナログI/Oを抑えたコンパクトモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×325×313mm、7U、質量:約15kg

Option DL-DM32-FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット ※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



DMO

オープンプライス

4Uの最もコンパクトなサイズ

- アナログI/Oなし
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- XCVI Coreの強力なプロセッシングと高音質を最もコンパクトなサイズに集約
- リダンダント電源を標準装備
- オーディオディストリビューションが必要な状況やデジタルスプリットに最適。

寸法(W×H×D):482.6×176×355mm、4U、質量:約12kg

Option なし

※MPS16には対応していません。

S Class / C Class 比較表

	S Class				C Class				
	DM64	DM48	DM32	DMO	CDM64	CDM48	CDM32		
入力	64	48	32	—	64	48	32		
出力	32	24	16	—	32	24	16		
プロセッシング	128入力チャンネル、64コンフィグバス								
FX	16 RackFXおよび独立したステレオリターン								
gigaACEリダンダント	○				—				
DX Linkリダンダント	○				—				
PSU	リダンダント、ホットスワップ		リダンダント内蔵		単一、内蔵				
ME-1 48kHzポート	○								
I/Oポート	3×128 I/O、96kHz				1×128 I/O、96kHz				
System I/O	800×800以上				400×400以上				

dLive C Class

MixRack XCVI Coreを搭載したdLive Cクラス用エンジン
PSUの設計を簡易化しリダンダントを省略。予算に応じたセットアップが可能。



CDM64

オープンプライス

多くのアナログI/Oが必要な現場に最適

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法(W×H×D):481.6×354.5×309mm、8U、質量:約13.5kg

Option なし



CDM48

オープンプライス

設置状況の制約がありながらもI/Oを必要とする現場に最適

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法(W×H×D):481.6×310×309mm、7U、質量:約12kg

Option なし



CDM32

オープンプライス

アナログI/Oを少なくし、物理的サイズを抑えたモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法(W×H×D):481.6×221×309mm、5U、質量:約10kg

Option なし



World-Class Processing & FX

DEEP Processing

DEEPプロセッシング・アーキテクチャーにより、オーディオニュアンスをノンリニアで捉える高性能コンプレッサーやクラシックなサウンドを届けるプリアンプなどの、優れたプラグインを幅広くそろえています。

グラフィックEQ、コンプレッサー、64チャンネルのオートマチック・マイクミキサーなどの独自アルゴリズムの数々は、FXスロットのリソースを使用することなく、外部プラグインのセットアップやレイテンシー、ライセンスなどの手間をかけずに、必要に応じてチャンネルインサートできます。

ファームウェアのアップデート時に随時追加されており、使いやすさも都度向上しています。

●コンプレッサー

BUS / Peak Limiter 76 / OptTronik / 16T / 16VU / Mighty / Opto

●エキスパンダー

Source Expander / Dual Threshold Expander

●プリアンプ

Dual Stage Valve / Tube Stage

●EQ(PEQ/GEQ)

NEQ12 / Constant-Q / Proportional-Q / Digi-Q / Hybrid



●オートマチック・マイクミキサー(AMM)

会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンで、最大64のマイクの音量を自動的に制御します。ハウリングのリスクを軽減するだけでなく、マルチマイクを使用した場面で一般的な問題となるチャンネル間の位相干渉を最小限に抑制します。

- ひとつのインターフェースから最大4つのゾーンを同時に制御。
 - 1ゾーン:最大64のマイク
 - 2ゾーン:最大32のマイク
 - 4ゾーン:最大16のマイク
- 動作モードは下記の2種類です。
 - D-Class:ダイナミックゲイン・シェアリングを採用し、素早く簡単にセットアップ可能
 - NOM:ロジックベースのオートマチック・ミキシング・アルゴリズムに基づいており、柔軟性の高いシステムを提供。



Dyn8

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド・コンプレッションを搭載した、パワフルで洗練されたプロセッサーです。ボーカルの調整、ドラムキットの修正、マスタリング、ミックスの引き締め、グルー感の追加など、多彩な用途で使用できます。

64個ものDyn8エンジンが用意されており、入力チャンネルやミックスチャンネルに挿入でき、自動でアサインされるので、ハッキングのストレスがありません。





高次元のFXとワークフローの革新がシーンを切り開く

dLive V2.0は、統合した創造的なFXと高度なワークフロー機能により、ミキサーの可能性を再定義する革新的なアップグレードモデルです。既存のdLiveユーザーもRackUltra FXをMixRackに装着することでdLive V2.0のすべての機能を手に入れることができます。



NEW

●全く新しいキューリスト管理

dLive V2.0は、キューリスト・システムを一新し、手動および自動リナンバリング・オプションとカスタムMIDIリコールでキューリスト作成を簡素化します。

●Action機能

1つのソフトキーで複数の機能をトリガー。ルーティングアサインやレベル、ABCD入力、プロセッシング、インサートイン/アウト、ストリップレイアウトなど、複数のチャンネルにまたがる機能を1つのソフトキーでトリガーできます。

●ミックスをチャンネルライブラリーに統合

チャンネルライブラリーはミックスを含むように拡張され、チャンネルはすべてのセンド、プロセッシング、名前/カラーデータを含む状態で保存できるようになりました。

●FPGAとARMプロセッsingのコンピューション

Allen & Heathの定評あるFPGAテクノロジーとARMプロセッsingを組み合わせたRackUltra FXカードは、今後すべてのMixRackに標準装備されます。既存のMixRackのアップグレードとしても利用可能で、入力、バス、FXスロットを消費することなく、8つのRackUltra FXエンジン（専用のステレオセンドとリターンチャンネル、PEQとダイナミック処理を含む）をdLiveシステムに追加します。

●8つのRackUltra FXエンジン

既存の16台のRackExtra FXユニットに加えて、RackUltra FXコレクションから任意の8台のFXをセンドまたはインサートとして実行できます。8系統のステレオRackUltra FXセンドとリターンは独立しており、既存のバスに影響を与えません。

●内蔵PEQとダイナミクス

コンプレッサー、ゲート、エキスパンダー、ダッカー（すべてサイドチェイン付き）、4バンドPEQをすべてのFX入出力に搭載しました。

■RackUltra FXの新たなエフェクト一覧

RackUltra FXコレクションは、市場で最も先進的なプラグインに匹敵する10種類の新しいアルゴリズムが搭載されています。

●ボーカル・プロセッシング

スタジオ・クオリティのピッチ補正、シフト、グリッド処理を、外部ハードウェアやサードパーティ製ソフトウェアなしで実現。プロ仕様のライブ・コンソールで初めて、外部ハードウェアやサードパーティ製ソフトウェアを使用せずに、ピッチ補正、シフティング、グリッド処理を含むスタジオ・クオリティのボーカルプロセッシングツール式を提供します。

Vocal Shifter

ボーカルを最大12半音上下にシフトすることができ、フルマント・コントロールによりボーカルを根本的に変化させます。Vocal Shifterは、ピッチダブリングから、EDMやその他のエレクトロニック・ジャンルで聴かれる非現実的なロボット的エフェクトやエイジング・エフェクトまで、あらゆるエフェクトを作り出すことができます。

Vocal Tuner

自然なピッチ補正が可能で、聴感上の不自然さを最小限に抑えます。

Vocal Gridder

ヒップホップ、ポップス、トラップ、モダン・カントリーなど、数え切れないほどの作品で聴かれるような、より速く、より自然なピッチ補正を行います。



●ディストーション&サチュレーション

繊細なサチュレーションから強烈なギターアンプ・ディストーションまでカバーする2種類のディストーション・エフェクトです。

Saturator

5つのアナログサチュレーションモデルを搭載し、スムースで繊細なテープドライブからゲルマニウムやバルブランチャまでカバーします。音源に温かみを与える、ダーティーなエッジを加えたり、より細く狭い帯域のエフェクトにカーブさせるのに最適です。



Amp+Cab Distortion

ギターアンプとベースアンプのハーモニックで複雑な特性をモデル化し、様々なクラシックなキャビネットの特性をエミュレートします。どんなキャビネットでも、どんなアンプでも使用でき、サウンドの可能性を最大限に引き出します。

その他の新機能

- Director Preview Mode : Directorからシーンを呼び出して更新し、ライブオーディオに影響を与えることなくシステムに保存
- すべてのRackExtraとRackUltra FXのFX Widthコントロール
- Director CSV インポート/エクスポート : チャンネル名、カラー、バッヂ、プリアンプの設定をCSVファイルからインポート/エクスポート
- Directorのフィールドがキーボードで編集可能
- Dyn8ギャング
- 新しいMIDIオプションとコマンド
- MIDIコントロールドライバーをdLiveサーフェスに接続し、キューリストのコントロールが可能
- グローバルセンドとレシーブの有効/無効オプション

●リバーブ

RackUltra FXカードのパワーを活用し、これまで想像もできなかつたようなリアルな残響音をコンソール内で実現します。

Spaces Reverb Designer

初期反射、テクスチャー、ディレイの3つの個別処理エンジンにより、通常ハイエンドのハードウェア機器に搭載される驚異的にリアルな物理空間を再現するアルゴリズミック・リバーブです。Spacesは、短いアンビエンスや小さな部屋から、チャーチ、ホール、そして60秒以上のディケイまで、エンジニアが独自の空間をデザインできます。

Plate Reverb Designer

プレートリバーブの特徴的な立ち上がりと余韻の再現に特化しており、ダークに焦点を当てたものから生き生きとしたブライトなものまで、音源に合わせて複数のプレート素材から選択できます。また、物理的なプレートリバーブに期待されるみずみずしい余韻も再現できます。



●ハーモナイザー

3つの高機能かつ音楽的なハーモナイザーが、dLiveのボーカルエフェクトを新たな次元へと導きます。

Quad Voice Harmoniser

グローバルキー、ローカルキー、MIDI入力のいずれかに従って、最大4ボイスの自然な響きのボーカルハーモニーを生成します。

Dual Auto Key Harmoniser

Quad Voice Harmoniserと同じコア・エンジンを使用しながら、インテリジェントなAuto Keyモードを追加し、ギターやピアノなどのボリューム・ソースを使用して、演奏のキーをリアルタイムで自動的に決定します。



MIDI Harmoniser

DAWからの外部MIDI入力またはライブ演奏に基づいてハーモニーを作成し、音符間の動きをボルタメントするグライド・パラメーターを備えたモノフォニック・モードに加え、最大4ボイスのハーモニーをコントロールできるボリューム・モードを備えています。

■グローバルキーのMIDIコントロール

- シーンGo,Next,PreviousのMIDI CCメッセージを設定可能
- RackUltra FXスロットごとにMIDIチャンネルを設定可能
- 選択したFX/パラメーター（リチューン、トランジション、補正、キー、スケール、バイパスなど）に対して設定可能なMIDI CCメッセージ
- カスタムコントロールマルチユニット設定をサポート
- タッチスクリーンによるPEQ幅のピンチコントロール
- すべてのAES出力ソケットの極性設定
- gigaACE高ジッター耐性モード
- PAFL Ext InからWedge/IEM出力への独立したOn/Offとプリ/ポストコントロール
- AESカードのPro/Consumerモード設定

Connecting to dLive

S Class Surface

S7000、S5000、S3000のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。



※画像はS3000

※I/Oポート4にWaves3カード、I/Oポート5にDante128カードが挿入されています。

拡大

※オプションカードが装着された画像です。



本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードM-DL-GACE (gigaACEカード) (→p.19) をご使用ください。

C Class Surface

C3500、C2500、C1500、CTi1500のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。



※画像はC3500

I/O Port

拡大



本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードM-DL-GACE (gigaACEカード) (→p.19) をご使用ください。

dLiveのシステム構成

ミニマルスタイル

機材を最小限に抑えたサーフェスレスミキシングスタイル。
重要なミックスはIP8のフェーダーコントロールでサポート。



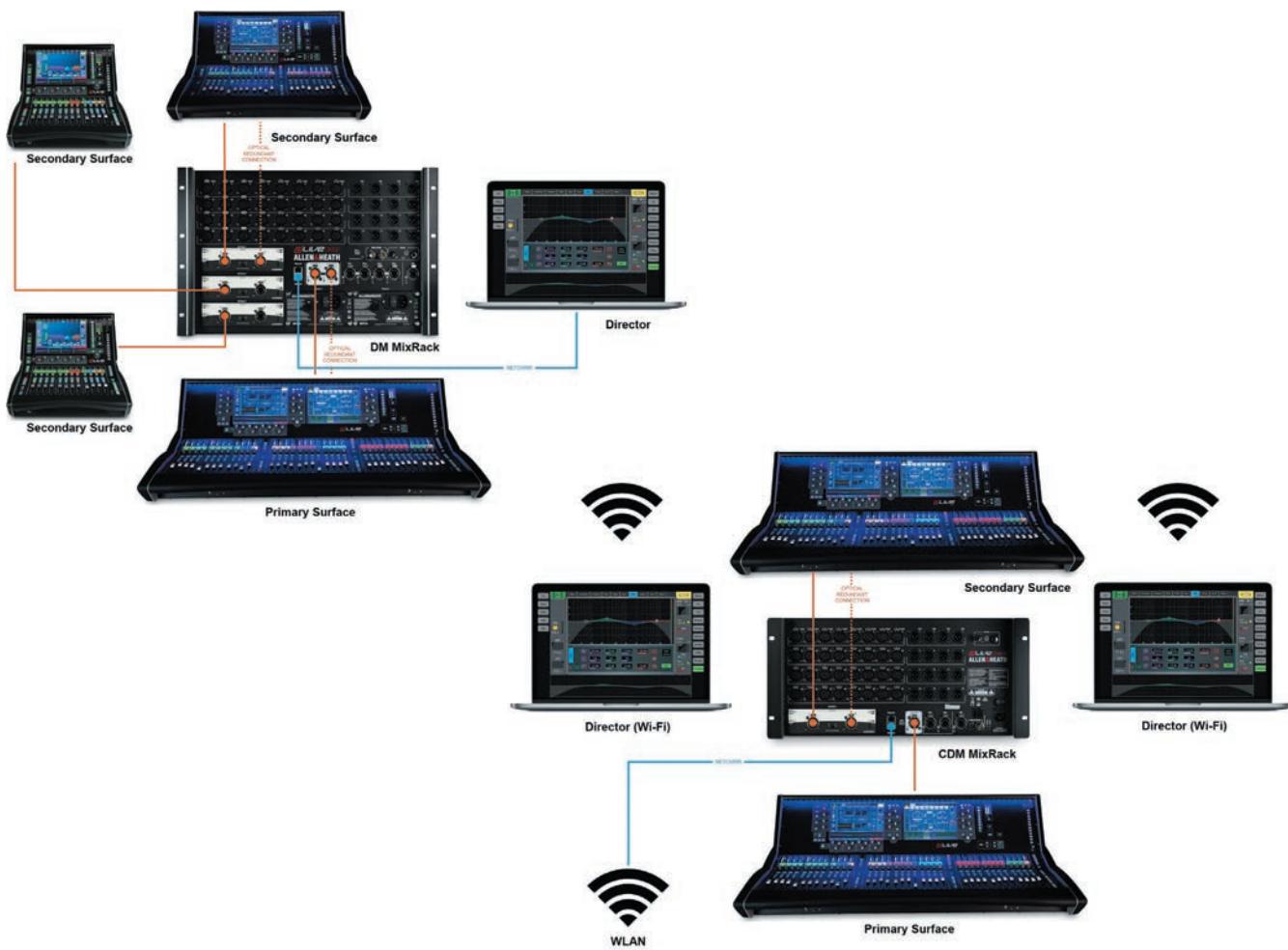
イベントPA・ライブハウス

サーフェスとMixRackで基本的に構成するコンパクト構成。
限られたスペースでもフル・ミキシングパワーを発揮。



コンサートツア・ホール設備

CDM MixRackは最大2台のサーフェス、DM MixRackなら最大4台のサーフェスと接続可能。
FOH/Monitorセットアップは勿論、パラレルミキシングも可能な大規模ミキシング構成。



avantis



**圧倒的なコストパフォーマンス。
高級感を纏い、高性能を凝縮させたオールインワンモデル。**

Avantis / Avantis Solo

オープンプライス

フェイズ・コヒーレント・ミキシング

バス・プロセシングのレイテンシー補正は、ルーティング経路によらず、同種のミックス出力信号の位相を揃えます。

これにより、システム・レイテンシー(アナログ入力～アナログ出力)を0.7ms以下に保ったまま、コーム・フィルタリングを気にすることなく明瞭で一貫したミックスを楽しめます。

※Dyn8、インサートを使用する場合またはバスをインプットに送る場合は、レイテンシーが補正されません。

オートマチック・マイクミキサー(AMM)

最大64のマイクの音量を自動的に制御し、ハウリングのリスクを軽減。会議やバーチャルディスカッションなどスピーチが主になるシーンに。

1.2.4のゾーンで最大64chを使用可能
1ゾーン:最大64
2ゾーン:最大32
4ゾーン:最大16

便利なアプリケーションソフトを用意 (→p.17,p.39)

フルメタルシャーシ

- これまでにないほどの厳しいテストをすべてクリアしたパーツを採用。
- 滑らかな曲線をメタルで作成。
- 性能と信頼性を追求して設計され、かつてないほどの強靭さと軽量化を実現。



Avantis / Avantis Soloの共通機能

- | | |
|--|--|
| ■ 96kHz、64チャンネル/42バス | ■ フルアサイン可能なレイアウト |
| ■ 超低レイテンシー(0.7ms)を実現したXCVI Core搭載 | ■ 144本のフェーダーストリップ(24本のフェーダー、6つのレイヤー)、右端4本は設定でマスターフェーダーへ設定可能 |
| ■ 設定可能なミックス/バス構成 | ■ SLinkポート、12XLR入力/12XLR出力、1AES入力/2AES出力、2つのI/Oポート(96kHz、128×128)、BNCワードクロック搭載 |
| ■ 2つの15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーンを搭載 | ■ ステレオ再生/録音用の内蔵ストレージ、USBステレオ再生 |
| ■ 12×RackExtra FXスロット(専用ステレオリターン付き) | ■ 尺寸(W×H×D):917×269×627mm、質量:約26kg。 |
| ■ 16×DCA(Digitally Controlled Amplifier) | |
| ■ ユーザーが設定可能なロータリーコントロール | |
| ■ 24×アサインブルソフトキー | |

Avantis / Avantis Solo 比較表

	Avantis	Avantis Solo
ディスプレイ	2×15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーン	1×15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーン
ソフトキー	24×アサイン可能なソフトキー	18×アサイン可能なソフトキー
フェーダー/レイヤー	24フェーダー/6レイヤー	12フェーダー/6レイヤー
ローカル入力	アナログ入力12系統、ステレオAES入力1系統	アナログ入力6系統、ステレオAES入力1系統
ローカル出力	アナログ出力12系統、ステレオAES出力2系統	アナログ出力6系統、ステレオAES出力1系統
寸法・質量	W917×H269×D627mm、約26kg	W546×H269×D627mm、約17.5kg

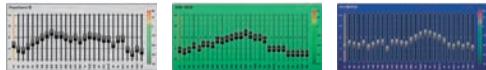
Avantis Free Pack

(無償プラグイン)

無償のプラグインとして、Graphic EQ3モデルとTube Stage Preampが追加できます。

▼DEEP GEQ

DEEP GEQは、28バンドの精密なグラフィックイコライザーで、+/-12dBのブーストとカットが可能。メインのLRミックスとすべてのAUX、グループ、MTXに対応しています。
▷Proportional Q ▷Digi-EQ ▷Hybrid



▼DEEP Preamp

dLiveの真空管プリアンプモデル「Dual Stage」のエンジンを利用しておおり、6つのプリセットとシンプルなコントロール・セットにより、非常に繊細な色付けからハーモニックなオーバードライブまで、本物のチューブ・キャラクターを素早く設定することができます。

▷Tube Stage



RackExtra FX 12個の専用FXラック。

ALLEN & HEATHは、こだわりに近い情熱を持って、定評あるアウトボード機器にインスパイアされた一連のFXを作成。1チャンネルに12個のスロットのうち1つだけを使用します。12個のFXスロットはそれぞれ専用のステレオリターンを備えているため、入力チャンネルを無駄にしません。

- ▶SMR Reverb
- ▶Gated Verb
- ▶Flanger
- ▶Stereo Tap Delay
- ▶ADT Doubler
- ▶MOO 12 Stage Phaser
- ▶Bucket Brigade Delay
- ▶Chorus
- ▶De-Esser
- ▶Echo
- ▶Symphonic Chorus
- ▶Dimension Chorus

※dPackを購入すると、以下のFXも追加されます。

- ▶Transient Controller
- ▶Hypabass



Avantis dPack (有償プラグイン)



Avantisに搭載された強力なプロセッシング・ツールでほとんどの要求に対応できますが、dLiveで使用されているプロセッシングを導入することで、表現力をさらに向上できます。

dPACK - DEEP

DEEPは、プラチナセラーのアーティストのツアーで使用されている、優れたプラグインです。
信じられないようなエミュレーションを、Avantisの入力チャンネルとミックスチャンネルにゼロレイテンシーで直接アサインします。
FXスロットを使用せず、サードパーティの機材に煩わされることなく、レイテンシーや位相の整合性の問題もありません。

- ▶DEEP Compressors
- ▶DEEP Expanders
- ▶DEEP Preamp



dPACK - DYN8

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド・コンプレッションを備えたパワフルで洗練されたプロセッサーです。
dPackでは、16のDyn8エンジンを入力チャンネルやミックスチャンネルにインサートすることができます。
サブグループをタイトにしたり、ボーカルの調整やミックスへのグルー感の追加など、様々な用途に使用できます。

- ▶16×Dyn8 instances



Option

AVANT-BRKT

(Avantis/Avantis SOLO共通オプション)

オープンプライス

Avantis MixPadを搭載したタブレット端末を装着する
プラケット。タッチスクリーンでのコントロールと視認性の向上に最適。



AP12151 オープンプライス

Avantis用ダストカバー。
& Avantisロゴが印象的。



AP13601 オープンプライス

Avantis SOLO用ダストカバー。

- パーソナル・ミキシングを簡単にアドオン

ME PERSONAL MIXING SYSTEM (→p.34)

- リモートコントロールも可能 (→p.40)



Connecting to Avantis

Avantis



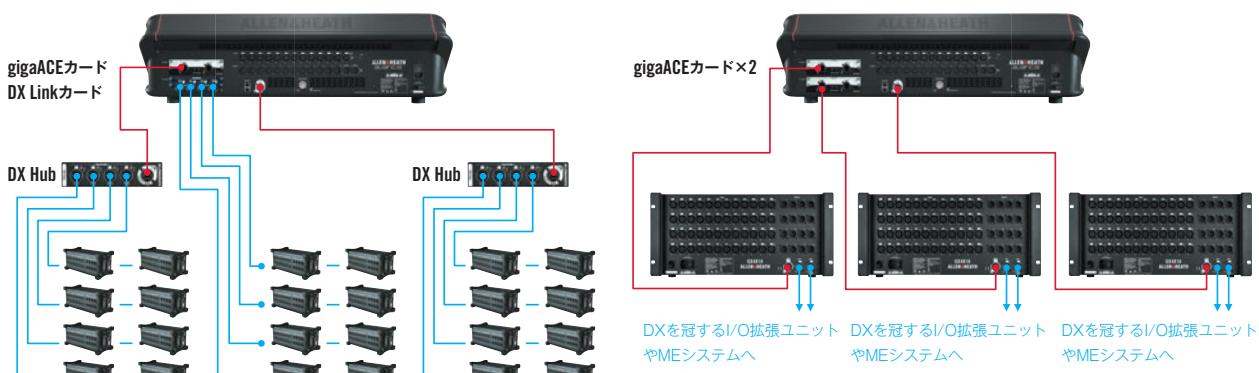
Avantisへの接続例



SLinkポートを使用すると、1台のDX32または最大2台のDX168/DX164-W/DX012/DX88-P拡張ユニットを直接接続できます。

SLinkポートとI/Oポートを利用して、最大2枚のDX Linkカード、またはgigaACEカードとDX Hubを最大2組構成すると、最大24台のDX168/DX164-W/DX012/DX88-P拡張ユニットの接続が可能です。

SLinkポートを利用し、I/OポートにgigaACEカードを2枚装着すると、3台のGX4816の接続が可能です。



Software dLive / Avantis

dLive Director / Avantis Director

アプリケーションソフトウェア

ノートPCやタッチタブレットを使って、ルーティング、I/Oパッチ、Surfaceレイアウト、シーンの設定、バスコンフィグの設定、ネットワークの設定などのシステム構築を可能にします。

※MacとWindows OS (Windows Surface Proを含む)に対応。

オフライン

dLive Director/Avantis Directorのオフラインモードでは音響システムのプリセットティングを行ったり、ゲストエンジニアから送ってきたShowファイルを編集してからUSBメモリーに移し、会場でコンソールを読み込むことができます。

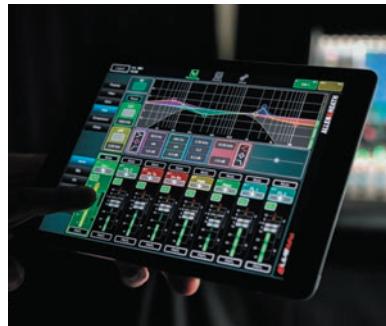
オンライン

オンラインモードではコンソールから離れた場所でフルコントロールを行えます。特にdLiveはサーフェスを必要とせず、MixRackと直接接続してPCからコントロールを行えるため、極めて最小限の機材でミキシングを完了できます。



MixPad

モバイル・ミキシングアプリ



iPadでワイヤレスミックス

MixPadは、ミキシングやプロセッシングをコントロールするエンジニアのためのモバイル・ミキシング・ツール。客席やステージを自由に歩き回り、必要な場所からサウンドをコントロールすることができます。

MixPadとdLive Surface/Avantisを連動させることで、それぞれの機能を同時にコントロールすることができます。

例えば、ひとりのエンジニアがSurfaceを使ってFOHのサウンドをミックスし、もうひとりのエンジニアがiPadを使ってステージモニターをミックスすることができます。

また、複数のiPadを接続し、それぞれを独立してコントロールすることも可能です。

コントロール可能な機能

- フェーダーレベル、ミュート、パン
- AuxとFXのセンド、ルーティング、Pre/Postの切り替え
- FXタップテンポ、グローバルタップテンポ
- マトリックスセンド、ルーティング、プリ／ポストの切り替え
- DCAマスターとアサイン
- プリアンプのゲイン、パッド、48V
- トリムとボラリティ
- HPF、ゲート、PEQ、GEQ、コンプ、ディレイ
- RTA機能
- チャンネル名とカラー
- PAFLセレクト
- フルシグナルメーター
- チャンネルレイアウトを自由に変更できるカスタムストリップ



App Storeから無料でダウンロードできます。

OneMix

パーソナル・ミキシング・アプリ



OneMixは、dLiveとAvantisのパーソナル・ミキシング・アプリです。管理者がWi-FiでdLiveやAvantisに接続して複数のiPadをセットアップ。他のモニターやFOHのミックスに影響を与えることなく各ミュージシャンにカスタマイズされたパーソナル・モニターを提供できます。また、演奏者も自分のモニター・ミックスを自分の好みに調整できます。

コントロール可能な機能

- ユーザーとしてログオンすることで、個別のコントロールが可能。
モニター(Aux)のマスターレベルとミュート
モニターマスターのPEQ、GEQ、Comp
モニターへのセンドレベルとステレオパン
センドミュート、ゲート、PEQ、GEQ、Comp
- 管理者としてログオンすることで、カスタムセットアップが可能。
ユーザーを識別するためのOneMixセッション名の設定
Aux(モニター)ミックスの選択
My Mix レイヤーと最大3つのカスタムレイヤーの割り当て
センドの割り当て—入力、FXリターン、グループ
DCAマスターのアサイン
各レイヤーに名前を付ける
レイヤーごとのプロセッシングやミュートの有効化／無効化など



App Storeから無料でダウンロードできます。

MIDI Control

PC上のDAWソフトウェアをコントロール



Mac OSまたはWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、それをミキサーに接続します。

- HUIやMackie ControlのプロトコルをエミュレートすることでMac OSやWindows上のDAWソフトウェアをコントロール。また、MIDIプロトコルに基づいてミキサーをコントロールすることも可能。
- デジタルミキサーのコアと直接MIDIメッセージを送受信し、ミキシングパラメータやシーンチェンジなどの機能をリモートコントロールできます。
- 標準的なCCメッセージを使用して、最も一般的なミキサーパラメーターをコントロールし、自動化できます。

Custom Control for dLive/Avantis

(→p.39)



ALLEN & HEATH独自の AoE (Audio over Ethernet) プロトコル

ALLEN & HEATHが独自に開発したAoEプロトコルは、デジタル・ミキシングシステムとI/O拡張ユニット間をシームレスに動作するように設計されており、デイジーチェーン型とスター型の両方のトポロジーを利用して、柔軟な音声分配とI/O機器の配置を可能にしています。

各接続はCAT5e以上のケーブルを使用して最大100m、光ファイバーを使用すればそれ以上の長さも可能で、小規模な会場から大規模なキャンパスまで、あらゆる規模のアプリケーションに対応できます。

各プロトコルの制御には、応答性の高いレイヤー2プロトコルを使用しており、高速な接続と即時の動作を実現しています。オーディオと同時に制御データも送信。拡張ユニットの接続時に適用され、ファームウェアのマッチングも自動で行われます。gigaACEでは1000BASE-T(ギガビットイーサネット)、GX、DX、dSNAKEでは100BASE-TX(ファストイーサネット)です。

SLink とは？



SLinkは、gigaACE、GX、DX、MEでの接続に対応したマルチプロトコルポートで、接続されたものに応じて自動的にモードを切り替えるインテリジェントなポートです。

接続された機器を感知し、それに応じてモード、ピットレート、チャンネル数、サンプルレートを自動で切り替えます。また、デジタルスプリット用途やDX Hubとの接続などにも対応しています。

gigaACE



gigaACEは、ギガビット・イーサネットをベースに、96kHz、24bitで128×128チャンネルを提供するプラグアンドプレイシステムです。dLive SクラスのMixRackとサーフェス、およびオプションの「gigaACE」カードの使用時には、2つのリンクは常に稼働しており、どちらかのリンクにエラーが発生した場合やリンクが完全に失われた場合でも、音声や制御情報の損失はなく、シームレスなリダンダントを実現します。

制御メッセージに加えて、一般的なTCP/IPデータを双方向にブリッジングまたは「トンネリング」することができます。これにより、ネットワーク接続されたアンプやワイヤレスレシーバー、DMX over Ethernetなど、システム内に組み込まれた他のネットワーク対応機器の制御メッセージを、1本のケーブルで接続するだけで伝送できます。

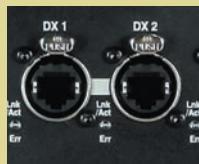
*gigaACEプロトコルは、GX / DX / SLinkの各ポートと接続可能。この場合、96kHzで128×128チャンネルを伝送します。レイヤー2のブリッジングモードと自動ファームウェアマッチングは提供しますが、イーサネットトンネリングはありません。

GX



GXプロトコルのポートは、96kHzで128×128チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。

DX



DXプロトコルの各ポートは、96kHzで32×32チャンネルと制御データを伝送。接続時にDX拡張ユニットに設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。ペアでシームレスにリダンダント化するリダンダントモードと最大2台のDX拡張ユニットをデイジーチェーン接続できるカスケードモードのいずれかで動作。

ME/dSNAKE



MEおよびdSNAKEプロトコルは、48kHzでそれぞれ0×40および40×40チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。各ME接続は、デイジーチェーン接続やME-UまたはPoEハブを介して、無制限の数のMEデバイスを接続できます。

	gigaACE (to gigaACE)	gigaACE (to DX Hub, GX または to/from SLink)	DX	ME dSNAKE
イーサネット	1000Base-T (Gigabit Ethernet)		100Base-TX (Fast Ethernet)	
サンプリングレート		96kHz		48kHz
チャンネル数	128*	128	32	40
トンネリング	✓	—	—	—
リダンダント	✓	—	✓	—
ファームウェア自動マッチング	—	✓	✓	✓
レイテンシー	5samples (52us)	5samples (52us)	8samples (83us)	4samples (83us)
ケーブル長			<100m	

Networking Card dLive / Avantis

dLiveやAvantisのI/Oポートに挿入し、ネットワークを構築するオプションカード。
オーディオのリダンダントや必要な場所へIOの増設など、使用目的に応じて選択できるカードを多数用意しています。

ALLEN & HEATH Prietary AoE Protocol



M-DL-GACE(gigaACEカード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 128入力、128出力、96kHz
- 5サンプル(52us)の超低トランスポートレイテンシー
- デュアルリダンダント
- 切り替え可能なコントロールネットワークプリッジ



M-DL-GOPT(fibreACEカード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 128入力、128出力、96kHz
- 3つの動作モード
 - ▷ Copper - CAT5e以上
 - ▷ Fibre - Neutrik OpticalCon Duoマルチモード
 - ▷ Convert - dLive MixRackとSurface間のリンクを光ファイバーに変換
- 5サンプル(52us)の超低遅延伝送
- デュアルリダンダント
- 切り替え可能な制御ネットワークプリッジ



M-DL-DXLINK(DX Linkカード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 4つのDXリンクポート
- ロック機能付きetherCONコネクター
- DX32、DX168、DX164、DX012、DX88-Pに対応
- 最大128入力、128出力
- リダンダントまたはパラレル接続モード
- 96kHzサンプルレート

Standard format



M-DL-WAVES3(WAVES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 128入力、128出力
- サンプルレート切替、48/96kHz
- Waves SoundGridネットワーキング
プラグイン・プロセッシング、オーディオ・ディストリビューション・デジタル・マイク・スプリットなど
- マルチトラックの録音と再生
- 複数のデバイスを接続できる統合3ポートEthernetスイッチ
- Waves V2およびV3カードとの入力共有



M-DL-SMADI(SuperMADIカード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 8×BNC(4リンク)
 - 8×SFPスロット*(モジュールは含まず)
 - リンクごとにサンプルレートを切り替え可能
48/96kHz
 - ペアごとに切り替え可能リダンダント
smux / High-Speed
 - 128 I/O(コアキシャル/オプティカル)、96kHz
 - 96kHzモードはSmuxまたはHighSpeedのいずれかを選択可能
- *マルチモードまたはシングルモードのLCを使用可能



M-DL-AES2in8out-A(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 2in 8out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



M-DL-AES4in6out(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 4in 6out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



M-DL-AES6in4out(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 6in 4out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



M-DL-AES10out(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーキング・カード

- 10out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



M-DL-ADAPT(Audio Interface)

オープンプライス

オーディオインターフェース

- M-Dante、M-Waves、M-ES-V2、M-ACE、M-MADIなど、iLive / GLDで使用されていたネットワークカードを搭載できるインターフェース。
 - 48kHzで動作する64×64チャンネルのインターフェース。サンプルレートはインターフェースモジュール内でシームレスに変換。
- ※写真はM-Danteオーディオネットワークカード装着時



**48ch、36バス
96kHz、XCVI Core採用
フェーダー数とローカルI/O数の異なる3モデル**



SQ-7

オープンプライス

- フェーダーストリップ: 192 (32フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力: 32マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- ブリアンプ: 32+トークバック
- 出力: 16ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー: 16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー: 8
- 尺寸 (W×H×D): 804×198×514.9mm、質量: 約17.8kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を最大2台装着可能。

Option SQ-BRACKET: タブレット端末装着プラケット
AP11334: ダストカバー



SQ-6

オープンプライス

- フェーダーストリップ: 144 (24フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力: 24マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- ブリアンプ: 24+トークバック
- 出力: 14ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー: 16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー: 4
- 尺寸 (W×H×D): 638×198×514.9mm、質量: 約14.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。

Option SQ-BRACKET: タブレット端末装着プラケット
AP11333: ダストカバー



SQ-5

オープンプライス

- フェーダーストリップ: 96 (16フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力: 16マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- ブリアンプ: 16+トークバック
- 出力: 12ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー: 8
- 尺寸 (W×H×D): 440×198×514.9mm、質量: 約10.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。
- オプション金具を使用して標準的な19インチラックにマウント可能。

Option SQ-BRACKET: タブレット端末装着プラケット
SQ-5-RK19: ラックマウントキット (→p.23)
AP11332: ダストカバー



SQ-Rack

オープンプライス

- フェーダーストリップ: 0 (タッチスクリーン操作)
- 入力: 16マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- ブリアンプ: 16+トークバック
- 出力: 12ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー: 8
- 尺寸 (W×H×D): 430×173×214mm、質量: 約5.8kg
- 付属のラックマウントイヤーを使用して標準的な19インチラックにマウント可能。

共通性能

- 96kHz、48チャンネル/36バス
- 超低レイテンシー (0.7ms) を実現したXCVI Core搭載
- 各入力チャンネルに、ブリアンプ、HPF、PEQ、ゲート、コンプ、ディレイ付き
- 12ステレオミックス+LR、3ステレオマトリックス
- 8ステレオFXエンジン (専用リターンチャンネル付き)

- マルチチャンネルUSBストリーミングおよびUSBドライブへのダイレクトトレコーディング
- トークバックマイク入力、フットスイッチコントロール、ワイヤレスコントロール
- オプションで、dLiveで使用されているDEEP ProcessingやRackExtra FXの中の複数のコンプレッサー、イコライザー、ブリアンプなどの使用が可能。

Connecting to SQ Series

SQ-7



SQ-6



SQ-5



SQ-Rack



| Networking Card



M-SQ-DANT64(Dante64×64カード)

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。



M-SQ-SLINK (SLinkカード)

オープンプライス

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。



M-SQ-WAVES3 (WAVESカード)

オープンプライス

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。



M-SQ-DANT32
(Dante32×32カード)
NEW
オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、32×32チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。



M-SQ-MADI (MADIカード)

オープンプライス

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がペアになっているため、スプリットまたはリダンダントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

Processing & FX

●パワフルプロセッシング

- 各チャンネルに、HPF、サイドチェーンとフィルターを備えた超高速ゲート、サウンドに躍動感を生み出す4バンドパラメトリックイコライザー、RMSコンプレッサーを装備。
- ミックスには、パラメトリック・イコライザー、28バンドのグラフィック・イコライザー、コンプレッサーを装備。



●アドオン・プラグイン(有償)

数々のワールドツアーで国際的なアーティストに使用され、数々の受賞歴のあるdLiveの
DEEPプロセッシングがSQで使用可能になりました。また、RackExtra FXにもアイテムを増やすことができます。

DEEP Compressors

Peak Limiter 76



ブラックフェイスもあり

16T



16VU



Mighty



Opto



DEEP Preamps

Tube Stage Pre(無償)



DEEP GEQs

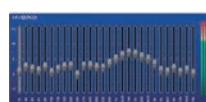
Proportional Q



DiGi-Q



Hybrid



Constant-Q



RackExtra FX-Tools

MultiBD Compressor 4



MultiBD Compressor 3



RackExtra FX-Tools

DynEQ4



De-Esser



RackExtra FX-Effects

Echo



Hypabass



Bucket Brigade



for PROFESSIONAL Performance

●AMM(Automatic Mic Mixer)

AMMは、スピーチを主とする会議、パネルディスカッション、劇場、放送など、多数のマイクを使用する状況で、マイクチャンネルのレベルを自動的にコントロールする機能です。SQ SeriesのAMMはD-Classicゲイン・シェアリング・アルゴリズムを使用して、アクティブなチャンネルのレベルを上げると同時に、割り当てられた他のチャンネルのレベルを下げます。また、特定のマイクを他のマイクよりも優先させるプライオリティレベルの設定も可能です。

最大24チャンネルのAMMを2つ搭載しています。2つのゾーンに24チャンネルずつ使用したり、大規模イベントでは1つのゾーンに48チャンネルを使用できます。



●MEバーソナル・モニタリング・システムにも対応

ミュージシャンの手元で完璧なモニタリング・コントロールを実現するMEバーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。明確でシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。(→p.34)



MIDI Control ソフトウェア(無償)

MIDI Controlは、Mac OSやWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、DAWコントロールを実現します。
(→p.17)



●録音・再生、ストリーミングを可能にするUSBインターフェースを搭載

- 32×32、96/48kHz、24bitのオーディオインターフェースにより、マルチトラックレコーディング、
バッキングトラック再生、ライブストリーミング、バーチャルサウンドチェックが可能。
- SQ-Drive:USB-A
ステレオ/マルチトラックの録音・再生(フルバッチ)が可能。
16ch@96kHz、32ch@48kHz
※SQ-Driveのオーディオレコーディングおよびマルチトラック再生は、高い持続転送率をサポートするUSBストレージデバイスである必要があります。一般的なUSBキーメモリは、BGMでの簡易的な再生には便利ですが、ほとんどの場合長時間の録音などで安定した持続性を得られません。
- USB Audio Streaming:USB-B
32×32、48/96kHz
- インターフェースはMac OS Xのクラスに準拠。Logic、Cubase、Reaper、ProToolsなどのCoreAudioをサポートするDAWで認識され、プラグアンドプレイが可能。WindowsではASIO™とWDMに対応したドライバーを用意。
- 無償のMIDI Control ソフトウェアを使用して、一般的なDAWのフェーダーにマッピング可能。



SQ APP



SQ MixPad

ミキシング機能のオンラインコントロールやオフラインでの編集が可能。

- オンラインモードでは、主なミキシング機能を有線または無線でコントロールできます。エンジニアは異なるリスニングポジションからのミキシングが可能になり、ステージからのモニターミックスの設定、あるいはローカルコントロールを追加できます。
- オフラインモードでは、シーンやショーやの保存・管理、ストリップアサインやチャンネルリストの編集、USBデバイスへのファイル転送(PCとMacのみ)、ミキサーとの間でショーや直接プッシュ/プルできます。

※iOS、Android、Windows、MacOSの各プラットフォームで利用可能。

※接続可能なSQリモートアプリの最大数は8で、SQ-MixPadは最大2つです。例えば、SQ-MixPadを2つ、SQ4Youを6つ、またはSQ-MixPadのインスタンスを1つ、SQ4Youのインスタンスを7つ接続することができます。

SQ4You

SQシリーズのパーソナル・ミキシング・アプリ。

- 最大8人のパフォーマーが自分のモニター・ミックスをAndroidまたはiOSデバイスからコントロールできます。
- 12のモノラルまたはステレオミックスから選択
- コントロールするソースの割り当て(チャンネル、FXリターン、グループ)
- チャンネルの番号、名前、メーターの表示
- ミックスのマスターレベル、ミュート、PEQ、GEQ、コンプレッサーのコントロール
- ミックスセンドのレベルとパンのコントロールなど

Option

SQ-BRACKET

オープンプライス

SQの後部にSQ MixPadを搭載したタブレット端末を装着するブラケット。SQ-5とSQ-6は1枚、SQ-7は2枚装着可能。スチール製。



ダストカバー

オープンプライス

ポリエチレン製のフィット感のある黒の撥水性ダストカバー(スクリーン印刷によるロゴ入り)。

AP11334:SQ-7
AP11333:SQ-6
AP11332:SQ-5



SQ-5-RK19

オープンプライス

SQ-5用ラックマウントキット。
標準的な19インチラックにマウント可能。





世界で圧倒的支持を得たQu-16/24/48の正統進化
すべてが新しい、新時代のデジタル・ミキサー



Qu-5

NEW

オープンプライス

Qu-5D Dante搭載モデル

- 入力:16モノラル/ステレオリンク(コンボ)
- プロセッシング入力:32+2ステレオ+USB1&2
- アナログ出力:12(XLR)、2(TRS)
- デジタル出力:1(AES/EBU)
- SLink:Everything I/Oエキスパンダー拡張用
- 16フェーダー+1メインフェーダー
- 最大AUX/GROUPS:6+6ステレオ
- 最大マトリクス:4
- FXエンジン:6
- Danteポート:16×16(Qu-5Dのみ)
- 96kHz XCVIプロセッシングコア
- USB-C:USBストリーム、USB-A:ステレオレコーディング/プレイバック
- SD:マルチトラックレコーディング/プレイバック
- 7インチタッチ液晶スクリーン
- オプションでフラグシップモデルのダイナミクスDEEP Processingに対応



Qu-6

NEW

オープンプライス

Qu-6D Dante搭載モデル

- 入力:16モノラル/ステレオリンク(コンボ)
- プロセッシング入力:32+2ステレオ+USB1&2
- アナログ出力:16(XLR)、2(TRS)
- デジタル出力:1(AES/EBU)
- SLink:Everything I/Oエキスパンダー拡張用
- 24フェーダー+1メインフェーダー
- 最大AUX/GROUPS:6+6ステレオ
- 最大マトリクス:4
- FXエンジン:6
- Danteポート:16×16(Qu-6Dのみ)
- 96kHz XCVIプロセッシングコア
- USB-C:USBストリーム、USB-A:ステレオレコーディング/プレイバック
- SD:マルチトラックレコーディング/プレイバック
- 7インチタッチ液晶スクリーン
- オプションでフラグシップモデルのダイナミクスDEEP Processingに対応



Qu-7

NEW

オープンプライス

Qu-7D Dante搭載モデル

- 入力:16モノラル/ステレオリンク(コンボ)
- プロセッシング入力:32+2ステレオ+USB1&2
- アナログ出力:20(XLR)、2(TRS)
- デジタル出力:1(AES/EBU)
- SLink:Everything I/Oエキスパンダー拡張用
- 32フェーダー+1メインフェーダー
- 最大AUX/GROUPS:6+6ステレオ
- 最大マトリクス:4
- FXエンジン:6
- Danteポート:16×16(Qu-7Dのみ)
- 96kHz XCVIプロセッシングコア
- USB-C:USBストリーム、USB-A:ステレオレコーディング/プレイバック
- SD:マルチトラックレコーディング/プレイバック
- 7インチタッチ液晶スクリーン
- オプションでフラグシップモデルのダイナミクスDEEP Processingに対応

共通性能

- 96kHz XCVIプロセッシングコア
- 38入力(32モノラル/リンク可能、3ステレオ)、12ミックス、4マトリクス、6FXエンジン
- Everything I/Oエキスパンダー接続用のSLinkポート

- 32×32USB-Cオーディオインターフェース
- SDカードで32チャンネルのマルチトラック録音/再生
- USB-Aポート経由でシンプルなステレオ録音/再生が可能
- フェーダー数の異なる3フレームを用意し、それぞれにDante搭載モデルを用意(48/96kHz、16×16ch)

Connecting to Qu Series

画像はすべてD(Dante搭載モデル)のものです。

Qu-5D



Qu-6D



Qu-7D



Option

Qu-5/5D用ラックマウントキット
QU-5-RK19/X

オープンプライス

Qu-5/Qu-5Dのオプションとして



Qu-5/5D用ダストカバー
AP14096

オープンプライス

Qu-5/Qu-5Dのオプションとして



Qu-6/6D用ダストカバー
AP14097

オープンプライス

Qu-6/Qu-6Dのオプションとして



Qu-7/7D用ダストカバー
AP14098

オープンプライス

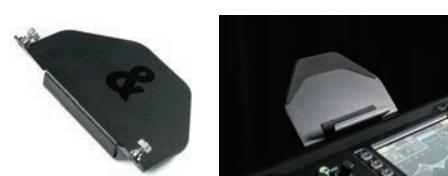
Qu-7/Qu-7Dのオプションとして



Qu-5/5D/6/6D/7/7D用タブレットブラケット
QU-BRACKET

オープンプライス

Qu-5/6/7共通オプションとして

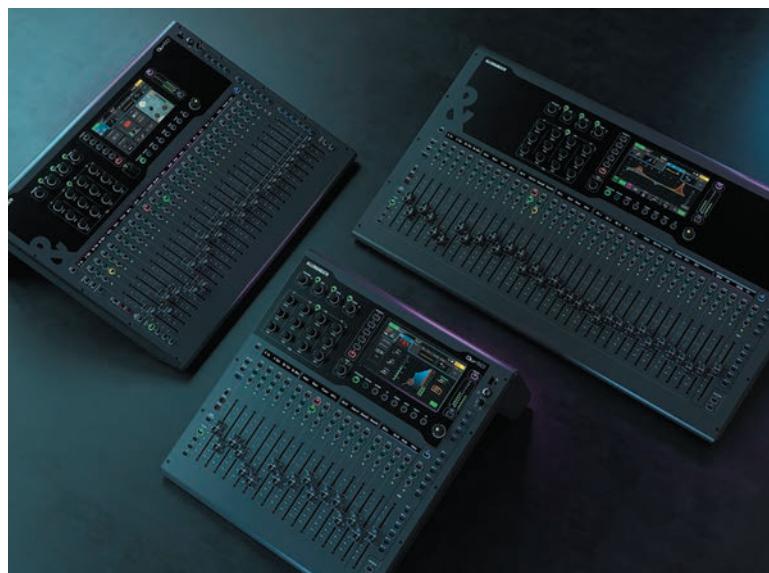


The Next Stage Performance

●すべてが新しい、新時代のデジタルミキサー

Qu-5/6/7はXCVIコア、I/O機能から、UI、画面とフェーダーまで、すべてを再設計しています。Qu-5/6/7は38入力(32モノラル/リンク可能、3ステレオ)、12ミックス、4マトリクス、6つのFXエンジン(専用ステレオリターン付き)、およびEverything I/Oエキスパンダー接続用のSLinkポートを搭載しています。全モデルに32×32USB-Cオーディオインターフェースを搭載し、DAW録音に対応。SDカードで32チャンネルのマルチトラック録音/再生、USB-Aポート経由でシンプルなステレオ録音/再生が可能です。

ラインナップは3つのフレームサイズから選択でき、各モデルはDante接続の有無を選択可能。Danteインターフェースは48/96kHzで16×16chに対応しています。



●Quシリーズの直感的なワークフローを継承しつつ最新化

直感的なワークフローで評価されてきたQuの操作性を継承しながらも新世代モデルは、4つのカスタムフェーダーレイヤー、より多くのアサインが可能なSoftKeys、柔軟なルーティングオプションを拡張しています。ユーザーインターフェースは、ナビゲーションの速度と使いやすさをポイントに刷新し、重要なミキシング機能は常に指先で操作可能です。

●フラッグシップモデルのダイナミクスを継承

Qu-5/6/7はフラッグシップモデルdLiveで定評のあるDEEP Processingにオプションで対応し、伝説的なスタジオコンプレッサーとプリアンプのエミュレーションを運用できます。さらに、CQシリーズで採用されたフィードバックアシスタンントとゲインアシスタンントを搭載。セットアップのストレスを軽減し、サウンドチェックを迅速化します。



Everything I/O

運用シーンに合わせて多様なI/Oエキスパンダーを組み合わせ可能

DX012

(→p.29)



DX164-W

(→p.29)



DX168

(→p.29)



DX32

(→p.28)



DX88-P

(→p.30)



AR84

(→p.31)



Qu APPS



Qu MixPad

会場内のどこからでもタブレットからQuミキサーをリモート制御

- ステージサイドでモニターを微調整する際でも、サウンドチェック中に会場内を動き回る際でもQuミキサーを制御できるエンジニア向けアプリ。
- ステージ上で運用すれば演奏者とモニターミックスを容易にセットアップでき、全員の必要な音を正確に設定可能です。
- Qu MixPadは最大2台追加できるため、コンソールと合わせて最大3つのミキシングポイントとして機能します。そのためあらゆる演目で柔軟な操作性と高速レスポンスの早いミキシングを実現します。



Q4U

ミュージシャンのためのパーソナルミキシングアプリ

- パフォーマーがAndroidまたはiOSデバイスから独自のモニターミックスを作り出せるミュージシャン向けアプリ。ミュージシャン側のケアを必要最低限にできるため、エンジニアはFOHのミキシングに集中できます。
- 最大8台の同時運用が可能なため、ボーカリストからドラマーまで、バンド全員の使用が可能です。
- アプリの設定はキーレベルをコントロールする4つのホールインターフェース以外にも、AuxミックスのEQ、コンプレッサーをすべて調整可能なインターフェースまで多岐に亘ります。ミュージシャンが操作を誤った場合も、エンジニアが簡単に引き継いで設定を完了させることができます。

AB168

(→p.31)



AR2412

(→p.31)



DT22

(→p.33)



DT02

(→p.33)



DT20

(→p.33)



DT164-W

(→p.32)



DT168

(→p.32)



I/O Expander

入出力数を増やしたり、離れた場所で入出力が必要となった場合など様々なシチュエーションに対応できるI/O拡張ユニット群。充実したラインナップで、最適なシステムを簡単に構成することができます。シリーズをまたぐシステムでも使用できます。



拡大

GX4816 5U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 48マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、16ライン出力、96kHz、GXポート×1、DXポート×2 (A / B)
- ラックマウント (5U) 可能
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大:90W

▶ GX:gigaACE (dLive) / SLink (Avantis/SQ) (128×128)

DX 1:DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P(32×32)
DX 2:DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P(32×32)
または

DX 2:ME パーソナルモニタリングシステム (0×40)

※dLiveに接続している場合、機能しない



※画像は、リダンダント電源とオプションのI/Oモジュールを装着しています。



拡大

DX32 4U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 4入出力カードスロット、96kHz、電源ユニットMPS16×1 (出荷時実装済み
※電源二重化には計2台必要)
- 2本のケーブルを使用してリダンダント接続が可能。
- ラックマウント (4U) 可能。床置きとして使用する場合のプラスチック製の足も付属。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大300W

▶ DX A:dLive Surface / MixRack、DX Hub、DX Link card、SLink
リダンダントを組む場合、

DX A,B:dLive S Class Surface / MixRack、DX Hub (×2) / DX Link card

▶ DX32用I/Oモジュール

**高音質
32bit**

M-DX32-INPR

オープンプライス

PRIME Inputカード
8入力、32bit/96kHz ADCコンバーター搭載



M-DL-AIN

オープンプライス

8マイク/ライン入力。ゲイン、パッド、48Vファンタム
電源はプリアンプによるデジタルコントロール。



M-DL-DIN

オープンプライス

4×ステレオAES3入力。サンプリングレート: 32-
192kHz、96kHzではバイパス。



**高音質
32bit**

M-DX32-OUTPR

オープンプライス

PRIME Outputカード
8出力、32bit/96kHz DACコンバーター搭載



M-DL-AOUT

オープンプライス

8ライン出力、バランスXLRコネクター。電源のOn/Off
時のノイズを防止。



M-DL-DOUT

オープンプライス

4×ステレオAES3出力。XLRコネクター (96kHz、
88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替)





DX012 1U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 12出力(切替:12アナログ、8アナログ+4AES3、4アナログ+8AES3)、DXポート×2(A / B)
- AES3出力周波数切替(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。dLive S ClassやDX Link cardなどの互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジ털接続によるI/Oの追加が可能。
- ラックマウターハーは前面、背面どちらにも取り付け可能。※出荷時は、前面に取り付け。
- AC電源100V(3ビンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

付属品 ラックマウントキット※出荷時取り付け済み



DX168

オープンプライス

移動型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力(ファンタム電源ステータスLED付)、8ライン出力、96kHz、DXポート×2(A / B)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジ털接続によるI/Oの追加が可能。
- 耐久性の高いラバーベンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。
- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
- オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能(4U)。
- AC電源100V(3ビンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

Option AB1608-RK19:ラックマウントキット
AP9932:キャリーバッグ

AB1608-RK



DX164-W

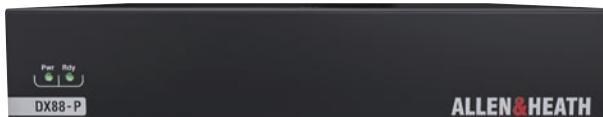
オープンプライス

埋め込み型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力(ファンタム電源ステータスLED付)、4ライン出力、96kHz、DXポート×2(A / B)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジ털接続によるI/Oの追加が可能。
- 壁掛けやステージへの設置が可能。※マウントフレーム使用。
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源としても使用可能。
- AC電源100V(3ビンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

付属品 AA11504:壁面固定用マウントフレーム
AC直接配線用グランドモジュール

I/O Expander



DX88-P

NEW

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力 (リコール可能な5~60dBゲイン、ファンタム電源供給、20dB Pad)、8ラインアウト (96kHz対応)
- 固定設備に最適なユーロプロックコネクタ。AHM、SQ、Avantis、dLiveシステムに対応。
- DC12V電源供給
- DX BポートはDX拡張ユニットを最大2台までカスケード可能。
- オプションでラックマウントキットを用意。前面、背面どちらにも取り付け可能で、1Uに2台並べての設置やDX HubやGPIOとの設置も可能。

Option DX88-P-RK19: ラックマウントキット



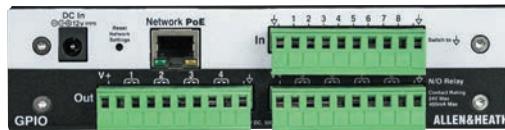
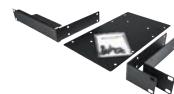
DX Hub

オープンプライス

拡張HUB

- RJ45 (4DX Linkポート、1gigaACEポート)、AC電源
- 各DX Linkポートには最大2台のDX拡張ユニットを接続可能。
- dLiveやAvantisシステムで使用する際は、複数のDX Hubを使用することで、さらなる拡張やリダンダントが可能。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大5W

Option FULLU-RK19: ラックマウントキット



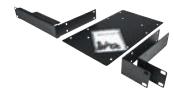
GPIO

オープンプライス

リモートコントロール用の汎用I/Oインターフェース

- フェニックス・コネクターによる8つの光絶縁入力と8つの常開 (N/O) リレー出力。うち1つはノーマルクローズ出力 (N/C) に設定可能。
- 2つの+10V DC出力 (最大500mA) を装備。PoE (IEEE 802.3af-2003) 対応。
- 最大8個のGPIOモジュールをCAT5ケーブルでdLiveシステムに直接または100Mb/sネットワークスイッチを介して接続。
- GPIOの機能は、dLive / Avantis Directorソフトウェア (PC/Mac) またはdLive SurfaceやAvantisを使ってプログラム可能。EVAC (アラーム/システムミュート)、放送(オンエアライト、フェーダースタートロジック)、シーターオートメーション(カーテン、ライト)など、様々な用途に対応。
- オプションのラックマウントキットで、19インチラック (1U/1/2幅) に設置可能。

Option FULLU-RK19: ラックマウントキット





AvantisやSQシリーズで使用可能なI/O拡張ユニット。※dLiveでの使用不可。

AR2412 [3U]

オープンプライス



ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 24マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、12ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1、EXPANDER/MONITOR(ME)ポート×1、エキスパンダーポート×1
 - dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。
 - MEパーソナルミキサーに接続するモニターポートと、AR84やAB168にデイジーチェーン接続するエキスパンダーポートも搭載。
 - AC電源100V(3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力：最大70W
- ※dLiveシステムでは使用不可。



AB168

オープンプライス

移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、8ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1、エキスパンダー/MEポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。また、MEパーソナルミキサーに接続して40chを提供。
- AR2412やAR84へのデイジーチェーン接続も可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。

- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
 - オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能(4U)。
 - AC電源100V(3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力：最大40W
- ※dLiveシステムでは使用不可。

Option AB1608-RK19:ラックマウントキット
AP9932:キャリーバッグ



AR84 [1U]

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、4ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。

- AR2412やAB168にデイジーチェーン接続も可能。
 - AC電源100V(3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力：最大20W
- ※dLiveシステムでは使用不可。



CAT6ケーブル

オープンプライス

ALLEN & HEATHが推奨するプロフェッショナルグレードのCAT6 Etherflexケーブル。用途に合わせて長さを選ぶことができ、すべてNeutrik EtherConロッキングコネクタ付きです。

AH10884 20m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON)

AH10885 50m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)

AH10886 80m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)

AH10887 100m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)

Dante ネットワーク対応製品

Networking card

dLiveやAvantisをDanteネットワークに接続するためのネットワークカード。
64×64と128×128を用意。



**M-DL-DANT64
(Dante 64x64カード)**
オープンプライス

- 64chのDante I/O (96kHzまたは48kHz)
の双方向通信が可能



**M-DL-DANT128
(Dante 128x128カード)**
オープンプライス

- 128chのDante I/O (96kHzまたは48kHz)
の双方向通信が可能

※SQ SeriesでDanteネットワークに接続する場合は、M-SQ-DANT64 (→p.21) を使用してください。

I/O Expander

Danteネットワークに対応するI/O拡張ラック。
移動型と設置型の2種を用意。



DT168

オープンプライス

移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、8ライン出力、96kHz/48kHz、
1PSU、2RJ45 (Danteポート Primary/Secondary)
 - ラバーバンパーとハンドルが付いた持ち運びに便利なモデル。
 - プライマリポートとセカンダリポート装備。ディジタル接続やリダンダントが可能。
 - Dante Domain Manager対応
 - dLive、Avantis、SQ、AHMの各システムに、Dante
カードを装着することで最大16台まで追加可能。
- Option AB1608-RK19:ラックマウントキット
AP9932:キャリーバッグ



DT164-W

オープンプライス

埋め込み型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、4ライン出力、96kHz、Dante
ポート×2 (Primary/Secondary)、DC入力 (3A,12V)
- プライマリポートとセカンダリポート装備。ディジタル接続やリダンダントが可能
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※マウントフレーム使用
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源は
リダンダント電源として使用可・AES67対応
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQ、AHMの各システムに、Danteカードを
装着することで最大16台まで追加可能。

付属品 AA11504:壁面固定用マウントフレーム
AC直接配線用グランドモジュール

DT Preamp Control ソフトウェア

複数のDTユニットのリモートコントロールが可能となり、Danteを搭載したサードパーティ製デジタルミキサー やサウンドマネジメントシステムとDTエキスパンダーの使用が可能となります。

ALLEN & HEATHのウェブサイトから
無料でダウンロードできます。

<https://www.alien-heath.com/dt-preamp-control/>



- DT168およびDT164-Wのリモート
コントロール
- ブリアンブゲイン、+48V、パッドの
コントロール
- DT I/O拡張ユニットのファームウェア・アップデーターを含む
- ネットワークインターフェースの選択
- 最大16台のDT機器の制御

I/O Interface

Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍。
コンパクトなサイズなので、テーブルや演台の下に設置してローカルマイクを接続したり、
ステージ上やFOHで必要な場所にラックマウントしたりすることができます。

DT20

Dante
入力インターフェース



DT20 オープンプライス

- Dante入力インターフェース、48kHz /96kHz
- 2×コンボジャックのマイク/ライン入力
- PoE電源または電源アダプター
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option
DT-RK19: ラックマウントキット

DT02

Dante
出力インターフェース



DT02 オープンプライス

- Dante出力インターフェース、48kHz /96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源または電源アダプター
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option
DT-RK19: ラックマウントキット

DT02-M オープンプライス

- Dante出力インターフェース、48kHz /96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源（外部電源なし）
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具（DT-SMK）付属

DT22

Dante
入出力インターフェース



DT22 オープンプライス

- Dante入出力インターフェース、48kHz /96kHz
- ユーロブロック・コネクター、2入力×2出力
- PoE電源または電源アダプター
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option
DT-RK19: ラックマウントキット

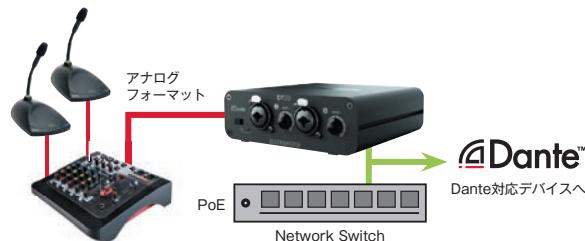
DT22-M オープンプライス

- Dante入出力インターフェース、48kHz /96kHz
- ユーロブロック・コネクター、2入力×2出力
- PoE電源または電源ボックス
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具（DT-SMK）付属

Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍！

- ・標準的なイーサネットケーブル1本でDanteネットワークに組み込めるうえ、PoE給電に対応。
- ・テーブルや演台の下などAC電源を確保できないシチュエーションでの運用を想定。
- ・いずれもDDM（Dante Domain Manager）、AES67に対応。

▼DT20を使用した例



●「-M」モデル用取付金具



※画像はDT02-Mを使用

サーフェスマウント金具
DT-SMK オープンプライス



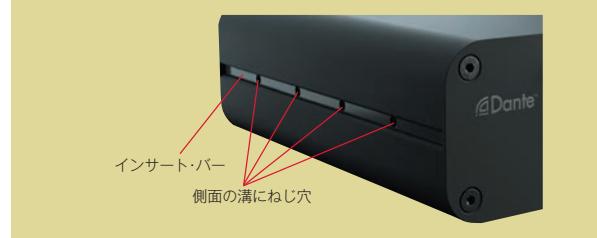
※画像はDT02を2台使用

ラックマウントキット
DT-RK19 オープンプライス

2台までのDTシリーズを取り付け可能。

固定設備用「-M」モデルについて

DT02-M、DT20-M、DT22-Mは、側面の溝にインサート・バーが取り付けられています。インサート・バーのねじ穴を使用して、付属のサーフェスマウント金具を取り付けます。



-Mのつく固定設備用モデルの付属品。スペアとして購入可能。

取付面は、上下どちらにも装着可能。

Personal Monitoring System

ME PERSONAL MIXING SYSTEM

明確なビジュアルフィードバックによるシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。
セットアップを迅速化し、サウンドチェックを円滑に行えます。

ME-1

オープンプライス



40chパーソナル・ミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた40の入力
- 調光可能な有機ELスクリーンと16×バックライト付きアサイナブルキー
- コンソールのバスを使用せずにME-1内でグループ化が可能
- 16ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存して、任意のME-1ユニットで呼び出すことも可能。
- すべてのチャンネルとグループにカスタムネームを表示。コンソールに接続するとコンソール側から自動的に取得。
- マスター3バンドEQとリミッターを搭載
- MP3プレーヤー、クリックトラックなどのAUX入力を装備
- アンビエントマイク、シグナルジェネレーター搭載
- ヘッドホン出力(TRS,ミニ)
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用



仕様

- 周波数特性: 20Hz~20kHz (+0/-1dB)
- AD/DA変換: 24bit, 48kHz
- 残留出力ノイズ: -95dBu
- ヘッドホン出力: 300mW+300mW@100Ω 負荷、最大:+21dBu
- モノ出力: 平均0dBu / 最大+18dBu
- Aux入力: 平均-8dBu / 最大+10dBu / インピーダンス>10kΩ
- PoE (802.3af: 15.4W)
またはPoE+(802.3at: 30.0W)

- PoE要求性能: PoE時、下限10W (PoE ハブでは15W)
- 外部電源: 入力: 100V AC, 50/60Hz / 出力: 12V DC, 1.25A
- 寸法・質量: W227×H68.5×D160mm, 1.1kg

付属品
マイクスタンドブラケット、ヘッドホンハンガー
Option
IP6-ME-MOUNT: ウォールマウントブラケット

ME-500

オープンプライス



16chパーソナル・ミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた16モノラル/16ステレオ入力
- マスター2バンドEQとリミッターを搭載
- ミキサーからアサインされた最初の16個のモノラル/ステレオチャンネル、およびミックスは、16個のセレクトキーに自動的に割り当て
- 8ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存でき、他のME-500へ簡単に転送可能。
- ヘッドホン出力(TRS,ミニ)
- ゾロ、ミュートキー
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用
- マイクスタンドブラケットとヘッドホンハンガーは別売りです。

仕様

- 周波数特性: 20Hz~20kHz (+0/-1dB)
- AD/DA変換: 24bit, 48kHz
- 残留出力ノイズ: -95dBu
- ヘッドホン出力: 300mW+300mW @ 100Ω 負荷、最大:+21dBu
- PoE (802.3af: 15.4W)
またはPoE+(802.3at: 30.0W)
- PoE要求性能: PoE時、下限10W (PoE ハブでは15W)

- 外部電源: 入力: 100V AC, 50/60Hz / 出力: 12V DC, 1.25A
- 寸法・質量: W227×H70×D160mm, 1.1kg

Option

AB8999: マイクスタンド取付ブラケット
AA8705: ヘッドホンハンガー
IP6-ME-MOUNT: ウォールマウントブラケット

ME-1とME-500 どちらを選ぶ?

似たような外見のME-1とME-500ですが、ユーザーやシチュエーションにより使い方が異なります。

チャンネル数が多くリハーサル時間が十分にあるショー、専属のアーティストが常駐する結婚式場や多目的ホールでは、ME-1を使用することで、エンジニアは各アーティストの好みやニーズを完全に反映させて各ユニットを構成できます。

フェスティバルなどエンジニアとアーティストのサウンドチェックの時間が限られている場合、または予算が限られている場合やチャンネル数が少ない場合には、ME500がお勧めです。最小限の手間でショーを立ち上げることができます。





ME-U 2U

オープンプライス

パラレル接続用10ポートPoEモニターハブ

- ロッキング機能付きEtherconコネクターを10ポート搭載
- 各ポートからME-1またはME-500に電源と音声を供給。
- ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。
- 2つのハブをリンクしてポートを増設
- ツアリンググレードの高品質
- ラックマウント可能(2U)
- 接続されたME-1は、SQやdLiveのミキサーからチャンネル名を自動的にピックアップ
- ユニット名とIPアドレスをブラウザで設定し、チャンネル名を手動で入力可能
- オプションカードを使用することで、他社のデジタルコンソールとの接続も可能

仕様

- 電源: 100V AC, 50/60Hz
- 消費電力: 250W
- 動作気温範囲: 5°C-35°C
- PoE性能: 15W(各ソケット)
- 寸法・質量: W482.6×H93×D253mm、4.6kg

Option Card



M-MADI2-A

オープンプライス

MADIインターフェースカード。48kHz対応。
64MADI(BNC)。

※ME-Uで使用する場合、中央のAUX端子と右のMADI LINK2 (IN/OUT) 端子は使用不可。



M-DANTE

オープンプライス

Danteインターフェースカード。64×64
入出力、48kHz対応、RJ45ポート(Control
Network,Dante Primary/Secondary)。



DiGiCo社ミキサー専用MEカード

DMIスロット装備のDiGiCoミキサーに
MOD-DMI-MEカードを挿入するとME
システムが使用できます。

●接続例

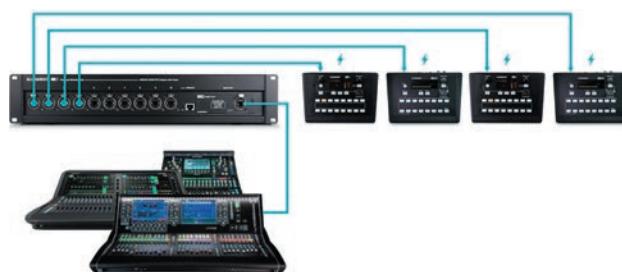
ALLEN & HEATHの デジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用しない場合

ME-1とME-500は、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、
SLink,dSNAKE,Monitorの各ポートに直接接続可能。
複数のME-1およびME-500をデイジーチェーン接続可能です。
※各ユニットに外部電源が必要。



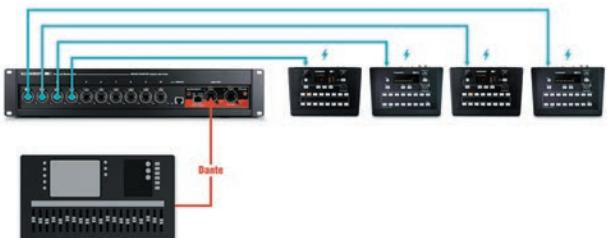
ALLEN & HEATHの デジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用した場合

ME-Uは、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink,
dSNAKE, Monitorの各ポートに直接接続できます。ME-Uに直接接続されたME-1
およびME-500には、PoE経由で電源が供給され、ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。10ポート以上が必要な場合は、複数のME-Uハブをデイジーチェーン接続できます。



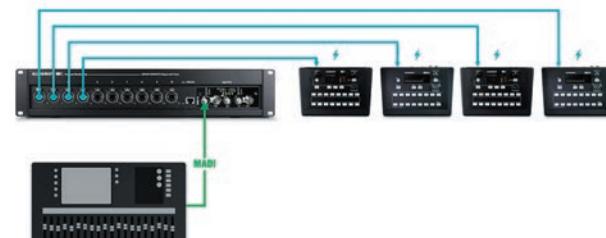
ME-Uに 「M-DANTE」カードを使用した場合

Dante接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



ME-Uに 「M-MADI2-A」カードを使用した場合

MADI接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。





優れた性能でマルチゾーンの音響を制御するオーディオ・マトリクス・プロセッサー。
カスタマイズ可能なインターフェースで操作も簡単。



AHM-64 [2U]

オープンプライス

64×64プロセッシング・マトリクス
12×12ローカルアナログI/O



AHM-32 [1U]

オープンプライス

32×32プロセッシング・マトリクス
12×12ローカルアナログI/O



AHM-16 [1U]

オープンプライス

16×16プロセッシング・マトリクス
8×8ローカルアナログI/O



IP1-WH-EU
IP1-BK-EU

IP1-WH-US
IP1-BK-US

IP1

オープンプライス

小型かつシンプルなウォールプレート。
技術者でないユーザーにも便利で
簡単なコントロールを提供します。



IP6

オープンプライス

6個のプッシュ・アンド・ターン式
ロータリーエンコーダ



IP8

オープンプライス

8本のモーターライズドフェーダーを搭載。
dLiveやAvantisの追加フェーダーやサーフェスレスの
ミキシングシステムとして、ハンズオンコントロールを可能にします。

AHM-64 / -32 / -16

●マルチゾーンの音声制御を構築

劇場、企業、小売店、商業施設、病院、教育機関など、マルチゾーンの音声制御を必要とする施設で優れた性能を発揮します。多数のI/O拡張ユニットやリモートコントローラー、Danteネットワークに対応するカードなど様々なオプションを組み合わせて、ユーザーが必要とする最適なシステムを構築可能。

●96kHzの高音質、低レイテンシー

次世代のFPGA技術を使用して開発された高品位なプロセッサー。きわめて低いレイテンシーでサンプリングレート96kHzの高音質を提供します。

●システムを簡単に操作

スマートなGUIを持つAHM System Managerは、特別なトレーニングを受けなくてもパワフルなオーディオ・システムの構築が可能。Custom Controlは、会場を使用するユーザーのオーディオスキルやデバイスに合わせたわかりやすい画面を提供します。

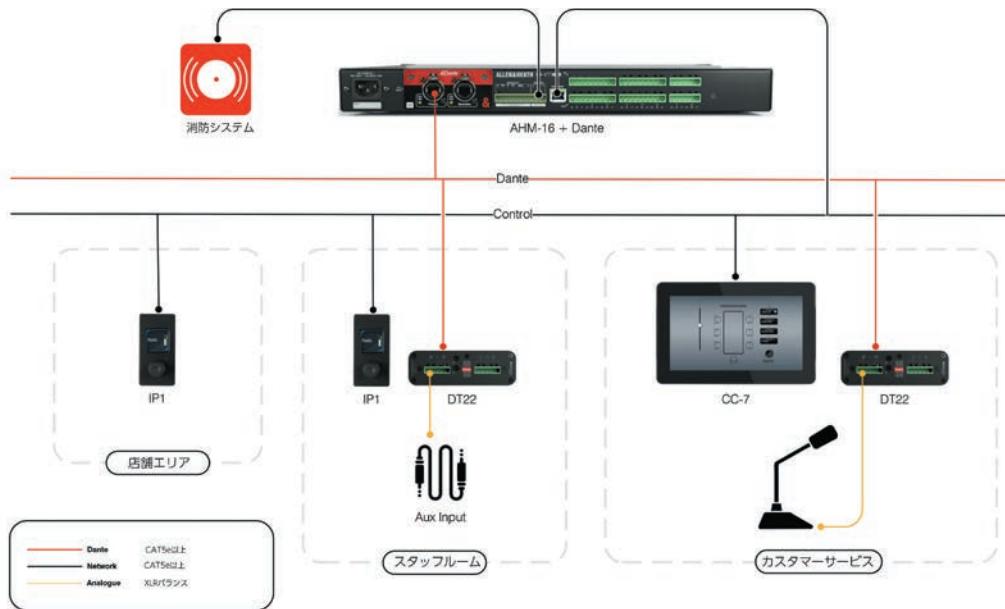
●的確なサウンドマネジメント

日々の業務に適した多くの機能を搭載し、的確なサウンドマネジメントを提供します。

- AMM(オートマチック・マイクミキサー)
- ANC(アンビエントノイズ補正)機能
- ダッキング機能
- イベントスケジュール管理
- 入出力にPEQ、ダイナミクス、ディレイ等、必要なエフェクターを装備。
- Danteに対応可能なネットワーク・カードを用意。
- ユーザー・プロファイル機能
- 管理者を含む操作者のアクセスを制限したり、選択した機能を保護。
- 2×2のGPIOを標準装備
- System Managerソフトウェアは、Mac/Winに対応。
- Custom Controlアプリは、各デバイスに対応可能。
- ステレオ再生機能を内蔵。
- Crestron、AMX、Extronなどサードパーティ製の機器からもコントロール可能。

	AHM-16	AHM-32	AHM-64
入出力チャンネル数	8×8	12×12	12×12
マトリクス	16×16	32×32	64×64
SLink	オプション(SLinkカードをI/Oポートに挿入)		内蔵
I/O ポート		○	—
フロントパネル画面	○		—
ソフトキー	4	8	—
GPIO		2×2	
DC 電源	—	—	12V
AMM	1	4	8
接続可能リモコンの数(IP1、IP6、IP8)	8、2、2	32、8、8	64、16、16
ユーザープロファイル	4	16	32
AEC	—	オプション(M-AHM-32)	オプション(M-AHM-64)
リア用ラックマウントキット	—	—	オプション(AHM-64-RK)

▼小規模店舗での使用例



Option

►AEC (Acoustic Echo Cancelling) モジュール



M-AHM-64 オープンフレーム



M-AHM-32 オープンフレーム

AHM-64用AECモジュール

AHM-32用AECモジュール

遠隔地からの会議やミーティングへの参加がますます一般的になる中、すべての参加者が明瞭に理解できるような高品質のオーディオは非常に重要です。遠隔地の参加者は、自分の声が会議室のスピーカーで再生され、複数のマイクで拾われて発信者に返されることによって、気が散るようなエコーを経験することが多く、会議の流れに深刻な支障をきたすことがあります。

ALLEN & HEATHのAEC(エコーキャンセラー)は、遠隔地の参加者の音声が含まれる「エコー」と、室内音響に起因する残留ノイズを効果的に検出し、専用のハードウェア処理によって不要な音声を最小化。その結果、会議の参加者全員にとって、よりクリアで快適なリスニング環境を提供します。

仕様

- 12チャンネルAEC
- 150ms FIRフィルター
- 残留エコーNLP(ノンリニア処理)

- 入力チャンネルにインサート

ファーエンド: AGC(自動ゲイン制御)

ニアエンド: ゲート

- パックグラウンドノイズ低減

▪ スピーチ型コンフォートノイズ

Connecting to AHM Series



AHM-64



AHM-32

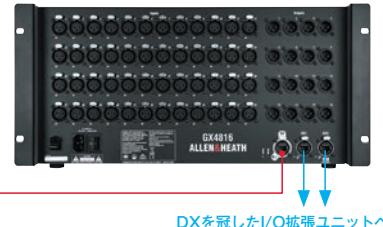


AHM-16



例) AHM-64のSLinkポートを使用した接続

GX4816



DX32



DX168



Networking Card



M-SQ-DANT64 (Dante64×64カード)

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。



M-SQ-DANT32 (Dante32×32カード)

NEW

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、32×32チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。



M-SQ-SLINK (SLinkカード)

オープンプライス

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。



M-SQ-WAVES3 (WAVESカード)

オープンプライス

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。



M-SQ-MADI (MADIカード)

オープンプライス

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がペアになっているため、スプリットまたはリダンダントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

Software AHM

System Manager

システム構築ソフトウェア

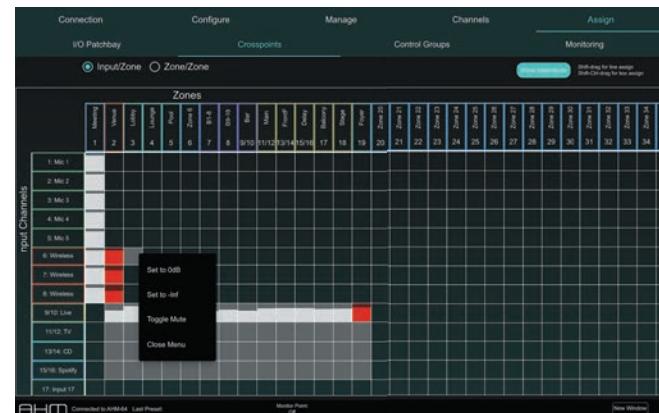
直感的な操作で、迅速なシステム構成が可能。

I/Oルーティングや各エリアのページング、音声配信、スピーカープロセッsingの設定や調整を行います。

※Mac/Windows OSに対応。



▲ Channels view



▲ Assign view

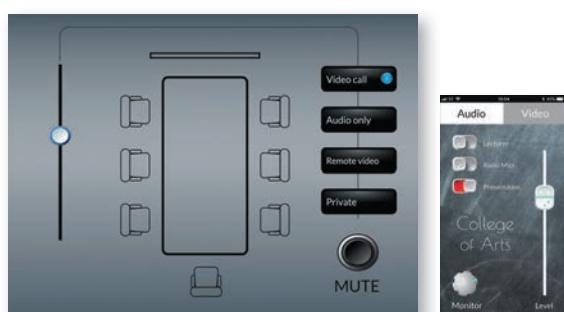
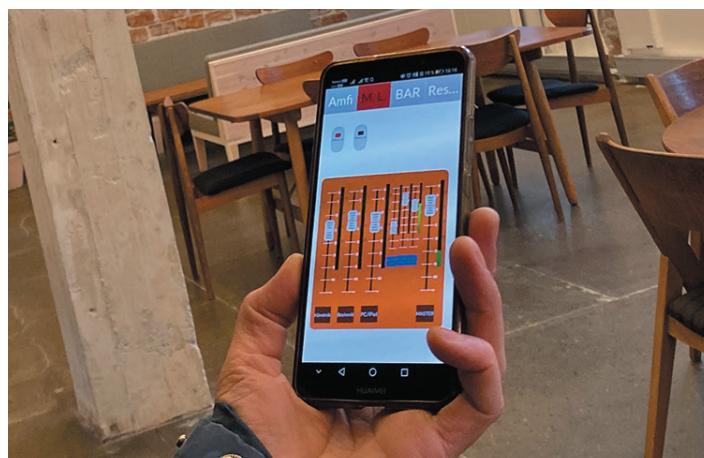
Custom Control

AHM、dLive、Avantis対応 音響システムコントロールアプリ

教育施設、多目的ホール、商業施設など、設備会場の複雑なオーディオを管理・コントロール。

会場を使用するユーザーのレベルやデバイスに合わせてアプリを設計し、複数のインターフェースを提供できます。

※iOS / Android / Windows / Macに対応。



フルカスタマイズ

すべてのレベル、ミュート、センドへのアクセスに加え、プリセットの呼び出し、ソースの選択、メーターの表示が可能です。タブを設定することで、複数のコントロールページやゾーンに簡単にアクセスできます。コントロールデザインのライブラリが用意されており、会場に合わせてカスタムグラフィックを追加することも可能です。



CC-7 & CC-10 Custom Control用タッチパネル

オープンプライス

CC-7とCC-10は、デスクトップまたはウォールマウント用のコントロール・タッチパネルです。Custom Controlアプリが搭載されており、シンプルな音楽ソースの選択から、レベルコントロール、プリセットの呼び出し、ページングまで、タッチスクリーンで操作できます。IPリモート・コントローラー(→p.40)の代わりとなる製品です。

Option CC-STN: デスクスタンド
CC-BRK: ウォールマウントブラケット

Remote Control

IP Seriesのリモートコントローラーは、標準的なTCP/IPネットワークを介してdLive/Avantisミキシングシステムと接続。他のコントローラーやコンピューター、サードパーティのデバイスにもイーサネットを使用してネットワークを簡単に構築できます。コントロールと機能は、サーフェスまたはPC/Mac用のDirectorソフトウェアを使ってプログラムします。



IP1-WH-EU
IP1-BK-EU

IP1-WH-US
IP1-BK-US

IP1

オープンプライス

小型かつシンプルなウォールプレート。
技術者でないユーザーにも便利で
簡単なコントロールを提供します。

- 音楽ソースの選択、レベルコントロール、またはプリセットの呼び出し
 - プッシュ&ターン式ロータリーとLCDディスプレイを搭載
 - TCP/IP、PoE対応
 - US (Decora) とEUの2つのバリエーション、ブラックとホワイト
- ※フェイスプレートは付属しません

仕様

- ネットワーク:Fast Ethernet 100Mbps
- PoE (802.3af:15.4W) またはPoE+ (802.3at:30.0W)
- 消費電力:2.5W
- 尺法 (W×H×D)・質量:
IP1-EU 50×50×32mm、70g
IP1-US 45×106×25mm、100g

IP6

オープンプライス

6個のプッシュ・アンド・ターン式
ロータリーエンコーダ

- ワイヤレスのIEMやパーソナル・モニタリングシステムとしても使用可能
- 6レイヤー
- PoEまたは外部12V電源

Option AB8999:マイクスタンド取付ブラケット
AA8705:ヘッドホンハンガー
IP6-ME-MOUNT:ウォールマウントブラケット

仕様

- ネットワーク:Fast Ethernet 100Mbps
- PoE (802.3af:15.4W) またはPoE+ (802.3at:30.0W)
接続したIP6 1ユニットにつき10Wを供給
- 外部DC電源:+12V、360mA
- 消費電力:5W
- 尺法 (W×H×D)・質量:227×55×150mm、1.5kg

IP8

オープンプライス

8本のモータライズドフェーダーを搭載。
dLiveやAvantisの追加フェーダーやサーフェスレスの
ミキシングシステムとして、ハンドオンコントロールを可能にします。

- 8モータライズドフェーダー
- 6レイヤー
- PoE+または外部12V PSU
- 台座や家具に取り付けて使用することもできます。

Option IP8-MOUNT:マウントキット

仕様

- ネットワーク:Fast Ethernet 100Mbps
- PoE+給電:30.0W (802.3at) ※PoE+給電のみに対応
接続したIP8 1ユニットにつき25Wを供給
- 外部DC電源:+12V、2.1A
- 消費電力:25W
- 尺法 (W×H×D)・質量:291×61×205mm、2.5kg





コンパクトな1Uサイズに豊富な入出力と多彩な機能を凝縮
店舗や施設のBGM、ページングシステムに適したアナログ・ゾーンミキサー



GR4 **1U**

オープンプライス

アナログ・ゾーンミキサー



- バー、レストラン、店舗、レジャー施設など小規模商業施設のBGMやページングをシンプルにコントロール。
- 4つのゾーンへの出力が可能。
- ページング機能や録音されたアナウンスを優先的に入力するモードなど通常業務に便利な機能を搭載。
- オプションでウォールプレートやリモコンを用意。
- 付属の金具でラックマウント可能。

最大4つのゾーンのミキシング

Z1とZ2への入力を個別にミックスし、選択してコントロール可能。Z3とZ4へのミックス出力は、内部ジャンパーにより複数のオプションを設定可能。

ダイナミクス

すべてのマイク入力にゲインと2バンドEQを、さらにZ1とZ2出力にも2バンドEQを搭載。

プライマリーマイクモード

MIC1の入力やページングを感知すると、音楽はあらかじめ設定されたレベルまでフェードされ、アナウンスの間はMIC2-4がミュートされる機能。
※ゲイン/ボリュームの設定が簡単に変更できないように、ロータリーコントロールを取り外して付属のキャップを取り付けられます。

選択可能なモード

プライマリ/セカンダリマイクモード

単純なページングアナウンスなど、階層化されたマイクフィードの制御に最適。

エマージェンシーマイクモード

緊急時にサードパーティのシステムと併用するためのモード。アラーム接点が閉じると、MIC1以外のすべての入力をミュートします。

ジューケボックスモード

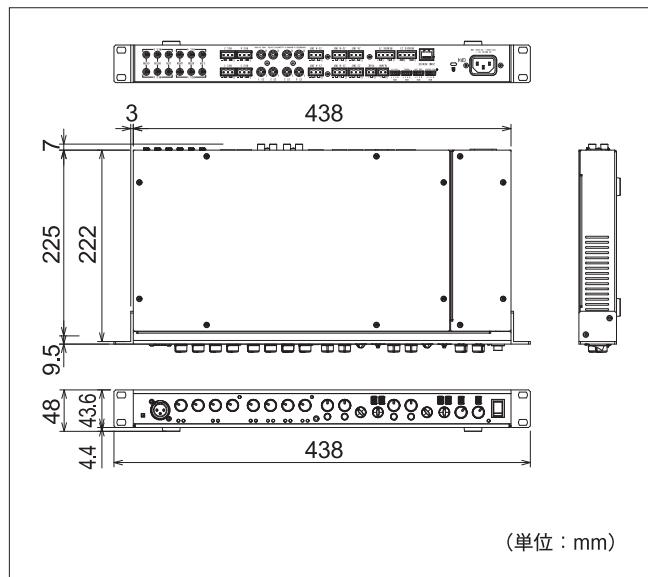
録音されたアナウンスやスポーツチャンネルなどの番組素材をシステムに優先的に入力。

高度な機能

プログラミングモードに入ると、以下のパラメーターを調整することが可能。

- ・ダッカーの減衰量
- ・ダッckerのホールドタイム
- ・ダッckerのリリースタイム
- ・ミュージック・クロスフェード・タイム
- ・ジューケボックスのホールドタイム
- ・ジューケボックスのリリースタイム

寸法図



Option

PL-14

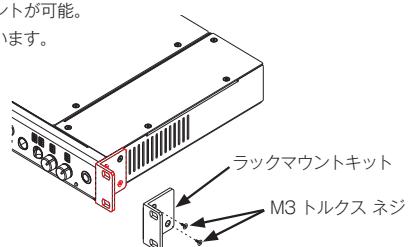
オープンプライス



リモートコントロール用ウォールプレート

- ロータリー式ボリュームコントロール、4つのソースセレクトスイッチ
- CAT5eまたはそれ以上のケーブルで接続
- RJ45リンクスルーコネクターによってコントローラーの追加が可能(最大2台まで)

付属の金具でラックマウントが可能。
トルクスネジも付属しています。





dLive S Class

		dLive S7000	dLive S5000	dLive S3000	dLive DM64	dLive DM48	dLive DM32	dLive DM0	
入出力性能	フェーダー数	36	28	20	—		—		
	ディスプレイ数	2	2	1	—		—		
	入力チャンネル	—	—	—	—		128		
	バス	—	—	—	64(グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数)		—		
	内蔵エフェクター	—	—	—	—		16		
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	8 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)	64 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)	48	32	—	—	
		入力感度	-60 ~ +15dBu	—		-60 ~ +15dBu	—		
		アナログゲイン	+5 ~ +60dB、1dBステップ	—		+5 ~ +60dB、1dBステップ	—		
		パッド	-20dB アクティブパッド	—		-20dB アクティブパッド	—		
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)	—		+30dBu (PAD in)	—		
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)	—		>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)	—		
		マイク等価入カノイズ	-127dB (150Ω ソース)	—		-127dB (150Ω ソース)	—		
	デジタル入力	AES3	2(バランスXLR、110Ω)	—		—	—		
		サンプリングレート	32kHz~192kHz (バイパスオプション付き)	—		—	—		
	アナログ出力	ライン出力	8 (バランスXLR)	32 (バランスXLR)	24 (バランスXLR)	16 (バランスXLR)	—		
		出力インピーダンス	<75Ω	—		<75Ω	—		
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値	—		+4dBu=0dBの測定値	—		
		最大出力レベル	+22dBu	—		+22dBu	—		
		残留出力ノイズ	-92dBu (ミュート20~20kHz) -90dBu (ミュート20~40kHz)	—		-92dBu (ミュート20~20kHz) -90dBu (ミュート20~40kHz)	—		
	デジタル出力	AES3	3(バランスXLR、110Ω)	—		—	—		
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能	—		—	—		
接続端子	gigaACE	2	—		2		—		
	DX Link	2	—		4		—		
	オプションカードスロット	2	—		3		—		
	ME接続専用 48kHzポート	—	—		1		—		
	ネットワークポート	2×RJ45	—		2×RJ45		—		
	ワードクロックI/O	2×BNC	—		2×BNC		—		
	USB-A	3	—		—		—		
	外部ディスプレイ	1×VGA	—		—		—		
	ヘッドホン出力	1/4"フォーン×1、 1/8"フォーン×2	1/4"フォーン×1、 1/8"フォーン×1	—		1		—	
システム XLR入力～ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	ダイナミックレンジ	110dB	—		110dB		—		
	S/N	-92dB	—		-92dB		—		
	周波数レスポンス	20Hz~30kHz +0/-0.8dB	—		20Hz~30kHz +0/-0.8dB		—		
	THD+N (アナログ入力から出力)	0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン	—		0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン		—		
	ヘッドルーム	+18dB	—		+18dB		—		
	内部動作レベル	0dBu	—		0dBu		—		
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)	—		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)		
	メーターキャリブレーション	0dB メーター＝-18dBFS (+4dBu @XLR出力)	—		0dB メーター＝-18dBFS (+4dBu @XLR出力)		0dB meter=-18dBFS		
	メータービークインジケーション	-3dBFS (+19dBu @XL出力)	—		-3dBFS (+19dBu @XL出力)		-3dBFS		
	サンプリングレート	96kHz +/- 20PPM	—		96kHz +/- 20PPM		—		
電源	AD/DA コンバーター	24bit	—		24bit		—		
	レイテンシー	0.7 ms (MixRack XLR入力～XLR出力、入力～ミックス)	—		0.7 ms (MixRack XLR入力～XLR出力、入力～ミックス)		—		
		+5サンブル、サーフェス～MixRack (gigaACE) +8サンブル、DX32～MixRack (DX Link)	—		+5サンブル、サーフェス～MixRack (gigaACE) +8サンブル、DX32～MixRack (DX Link)		—		
消費電力		最大300W (MPS16 V1 300W)* 最大250W (MPS16 V2 250W)* ※電源ユニットに消費電力を記載	—		最大300W (MPS16 V1 300W)* 最大250W (MPS16 V2 250W)* ※電源ユニットに消費電力を記載		最大90W (各電源)		
寸法 (W×H×D)		1325×413× 728mm	1115×413× 728mm	870×413× 728mm	482.6×458× 313mm.10U	482.6×369× 313mm.8U	482.6×325× 313mm.7U	482.6×176× 355mm.4U	
質量		約41kg	約35kg	約28kg	約21kg	約17.5kg	約15kg	約12kg	

dLive C Class

		dLive C3500	dLive C2500	dLive C1500	dLive CTi1500	dLive CDM64	dLive CDM48	dLive CDM32
入出力性能	フェーダー数	24	20	12	12	—	—	—
	ディスプレイ数	2	1	1	1	—	—	—
	入力チャンネル	—	—	—	—	128	—	—
	バス	—	—	—	—	64(グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数)	—	—
	内蔵エフェクター	—	—	—	—	16	—	—
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	6	(バランスXLR、+48Vファンタム電源)	64	(バランスXLR、+48Vファンタム電源)	48	32
		入力感度	−60 ~ +15dBu	—	—	—	−60 ~ +15dBu	—
		アナログゲイン	+5 ~ +60dB、1dBステップ	—	—	+5 ~ +60dB、1dBステップ	—	—
		パッド	−20dB アクティブパッド	—	—	—	−20dB アクティブパッド	—
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)	—	—	+30dBu (PAD in)	—	—
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)	—	—	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)	—	—
		マイク等価入力ノイズ	−127dB (150Ω ソース)	—	—	−127dB (150Ω ソース)	—	—
		AES3	1 (バランスXLR、110Ω)	—	—	—	—	—
	アナログ出力	サンプリングレート	32kHz~192kHz (バイパスオプション付き)	—	—	—	—	—
		ライン出力	6 (バランスXLR)	—	32 (バランスXLR)	—	24 (バランスXLR)	16 (バランスXLR)
		出力インピーダンス	<75Ω	—	—	<75Ω	—	—
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値	—	—	+4dBu=0dBの測定値	—	—
		最大出力レベル	+22dBu	—	—	+22dBu	—	—
		残留出力ノイズ	−92dBu (ミュート20~20kHz) −90dBu (ミュート20~40kHz)	—	—	−92dBu (ミュート20~20kHz) −90dBu (ミュート20~40kHz)	—	—
		AES3	1 (バランスXLR、110Ω)	—	—	—	—	—
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能	—	—	—	—	—
接続端子	gigaACE	1	—	—	—	1	—	—
	DX Link	1	—	—	—	2	—	—
	オプションカードスロット	1	—	—	—	1	—	—
	ME接続専用 48kHzポート	—	—	—	—	1	—	—
	ネットワークポート	2×RJ45	—	—	—	2×RJ45	—	—
	ワードクロックI/O	1×BNC	—	—	—	1×BNC	—	—
	USB-A	2×USB-A	—	—	—	—	—	—
	外部ディスプレイ	1×VGA	—	—	—	—	—	—
	ヘッドホン出力	1/4"フォーン×1、1/8"フォーン×1	—	—	—	1	—	—
	ダイナミックレンジ	110dB	—	—	—	110dB	—	—
システム	S/N	−92dB	—	—	—	−92dB	—	—
	周波数レスポンス	20Hz~30kHz +0/-0.8dB	—	—	—	20Hz~30kHz +0/-0.8dB	—	—
	THD+N (アナログ入力から出力)	0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン	—	—	—	0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン	—	—
	ヘッドルーム	+18dB	—	—	—	+18dB	—	—
	内部動作レベル	0dBu	—	—	—	0dBu	—	—
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)	—	—	—	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)	—	—
	メーターキャリブレーション	0dB メーター=−18dBFS (+4dBu @XLR出力)	—	—	—	0dB メーター=−18dBFS (+4dBu @XLR出力)	—	—
	メーターピークインジケーション	−3dBFS (+19dBu @XL出力)	—	—	—	−3dBFS (+19dBu @XL出力)	—	—
	サンプリングレート	96kHz +/- 20 PPM	—	—	—	96kHz +/- 20 PPM	—	—
	AD/DA コンバーター	24bit	—	—	—	24bit	—	—
	レイテンシー	0.7 ms (MixRack XLR入力～XLR出力、入力～ミックス) +5サンプル、サーフェス～MixRack (gigaACE) +8サンプル、DX32～MixRack (DX Link)	—	—	—	0.7 ms (MixRack XLR入力～XLR出力、入力～ミックス) +5サンプル、サーフェス～MixRack (gigaACE) +8サンプル、DX32～MixRack (DX Link)	—	—
電源	電源	100V AC、50/60Hz シングル電源	—	—	—	100V AC、50/60Hz シングル電源	—	—
	消費電力	最大110W	—	—	—	最大175W	—	—
寸法 (W×H×D)		885×325×665mm	775×325×665mm	485×325×665mm	440×337×644mm	481.6×354.5×309mm.8U	481.6×310×309mm.7U	481.6×221×309mm.5U
質量		約28kg	約24.5kg	約18kg	約11.5kg	約13.5kg	約12kg	約10kg

avantis

Avantis

		Avantis
入出力性能	フェーダー数	24
	ディスプレイ数	2
	入力チャンネル	64
	バス	42
	内蔵エフェクター	12
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力 12 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)
		入力感度 −60 ~ +15dBu
		アナログゲイン +5 ~ +60dB、 1dBステップ
		バッド −20dB アクティブバッド
		最大入力レベル +30dBu (PAD in)
		入力インピーダンス >4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)
		マイク等価入力ノイズ −127dB (150Ω ソース)
	デジタル入力	AES3 1 (バランスXLR、110Ω)
		サンプリングレート 32kHz~192kHz (バイパスオプション付き)
	アナログ出力	ライン出力 12 (バランスXLR)
		出力インピーダンス <75Ω
		定格出力 +4dBu=0dBの測定値
		最大出力レベル +22dBu
		残留出力ノイズ −95dBu (ミュート20~22kHz) −90dBu (ミュート0~80kHz)
	デジタル出力	AES3 2 (バランスXLR、110Ω)
		サンプリングレート 96kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能
接続端子	SLink	1
	オプションカードスロット	2
	ネットワークポート	2×RJ45
	ワードクロックI/O	1×BNC
	USB	USB2.0×1 (背面:Type-A)、 USB3.0×1 (前面:Type-A)
	ヘッドホン出力	1/4"フォーン×1、 3.5mmステレオミニ×1
システム	ダイナミックレンジ	109dB
	S/N	−92dB
	周波数レスポンス	20Hz~30kHz +0/-0.8dB
	THD+N (アナログ入力から出力)	0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dB ゲイン
	ヘッドルーム	+18dB
	内部動作レベル	0dBu
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)
	メーター キャリブレーション	0dBメーター=−18dBFS (+4dBu @XLR出力)
	メーターピーク インジケーション	−3dBFS (+19dBu @XLR出力)
	サンプリングレート	96kHz
	電源	100V AC、50/60Hz
消費電力		最大150W
寸法 (W×H×D)		917×269×627mm
質量		約26kg



SQ

		SQ-7	SQ-6	SQ-5	SQ-Rack
入出力性能	フェーダー数	32+1	24+1	16+1	0
	ディスプレイ数			1	
	入力チャンネル		48 (HPF、PEQ、Gate、Comp、Delayを有するプロセッシング)		
	バス(処理能力)		32 (12stereo/mono ミックス・バス、3stereoマトリクス、LR出力の合計)		
	内蔵エフェクター		8 専用ステレオリターン装備(Deepプラグイン・ソフト/オプションに対応)		
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	32	24	16
		入力感度		-60~+0dBu	
		アナログゲイン		0dB ~ +60dB、1dBステップ	
		パッド		-20dB 切替パッド	
		最大入力レベル		+30dBu	
		入力インピーダンス		>5kΩ	
		THD+N (ユニティゲイン0dB)		0.002% -92dBu (20Hz~20kHz、AES ダイレクトアウト、@0dBu 1kHz)	
		THD+N (Midゲイン+30dB)		0.003% -91dBu (20Hz~20kHz、AES ダイレクトアウト、@-30dBu 入力 1kHz)	
		ライン入力		3	
		ST1、ST2		バランス1/4" TRS	
		ST3		アンバランス3.5mmミニSTフォーンジャック	
		入力感度		ST1、ST2 : +4dBu、ST3:0dBu	
	アナログ出力	トリム		+/-24dB	
		最大入力レベル		ST1、ST2 : +22dBu、ST3:+18dBu	
		入力インピーダンス		>7kΩ	
		ライン出力	16+2 (XLR×16、バランスTRS×2)	14+2 (XLR×14、バランスTRS×2)	12+2 (XLR×12、バランスTRS×2)
		出力インピーダンス		<75Ω	
		定格出力		+4dBu=0dB の測定値	
	デジタル出力	最大出力レベル		+22dBu	
		残留出力ノイズ		-90dBu (ミュート20Hz~20kHz)	
		AES3		1 (バランスXLR、110Ω)	
		サンプリングレート		96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能	
接続端子	SLink			1×RJ45	
	オプションカードスロット			1	
	ネットワークポート			1×RJ45	
	USB			USB2.0×2 (背面:Type-B、前面:Type-A)	
	ヘッドホン出力			1/4" フォーン×1	
システム XLR入力～ XLR出力、 0dBゲイン、 0dBu入力	ダイナミックレンジ			112dB	
	周波数レスポンス			+0/-0.5dB 20Hz~20kHz	
	THD+N (Mic/LineからメインL/R出力)			ユニティゲイン・フェーダー@0dB、0.006%、-84dBu (20Hz~20kHz)	
	ヘッドルーム			+18dB	
	内部動作レベル			0dBu	
	dBFS アライメント			+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)	
	メーター キャリブレーション			0dB meter = -18dBFS (+4dBu @XLR出力)	
	ピークインジケーション			-3dBFS (+19dBu @XLR out)、マルチポイントセンシング	
	サンプリングレート			96kHz	
	レイテンシー			<0.7mS、ローカルマイク入力～メインL/R	
電源				100V AC、50/60Hz	
消費電力		110W	90W	75W	
寸法(W×H×D)		804×198×514.9mm	638×198×514.9mm	440×198×514.9mm	430×173×214mm
質量		約17.8kg	約14.5kg	約10.5kg	約5.8kg



Qu

		Qu-5	Qu-5D	Qu-6	Qu-6D	Qu-7	Qu-7D
入出力性能	フェーダー数	16+1		24+1		32+1	
	ディスプレイ数			1			
	入力チャンネル			38			
	バス			24 (6+6ステレオAUX/GRP、4マトリクス)			
	内蔵エフェクター			6専用ステレオリターン装備(Deepプラグイン・ソフト/オプションに対応)			
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力		16モノラル/ステレオリンク(コンポ)			
		入力感度		-60~-+0dBu			
		アナログゲイン		0dB~+60dB、1dBステップ			
		パッド		-20dB/パッド(固定)			
		最大入力レベル		+16dBuマイク入力/+30dBu TRS/パッド入力			
		THD+N(ユニティー)		0.002% -92dB (20Hz~20kHz, AESダイレクトアウト、@0dBu 1kHz)			
		THD+N(Mid)		0.004% -88dB (20Hz~20kHz, AESダイレクトアウト、@-30dBu 1kHz)			
		ライン入力		バランス型、2×1/4インチTRSジャック			
		入力感度		+4dBu			
		トリム		±24dB			
	アナログ出力	最大入力レベル		+21dBu			
		入力インピーダンス		>6kΩ			
		XLR出力		バランス型、XLR			
		出力A/B		バランス型1/4インチTRSジャック			
		ソース		フルパッチ可能			
		出力インピーダンス		<75Ω			
		定格出力		+4dBu=0dBメーター表示			
	デジタル出力	最大出力レベル		+22dBu			
		残留出カノイズ		-88dBu(ミュート時、20Hz~20kHz)			
	デジタル出力			バランス型XLR2チャンネル、96kHzサンプリングレート(デフォルトでSRCバイパス時)、切り替え可能な出力サンプリングレート、44.1/48/88.2/96kHz、2.5Vpp/バランス終端110Ω			
接続端子	SLink	接続		Neutrik EtherCON (RJ45)			
		dSnakeモード		40入力、20+40 (ME) 出力チャンネル、48kHz			
		DXモード		32入力、32出力チャンネル、96kHz			
		gigaACE/GX		128入力、128出力チャンネル、96kHz			
		入出力		フルパッチ可能			
		同期/SRC		オーディオクロックソースとして割り当て可能、48kHz<>96kHz SRC			
	Dante	(Qu-5D, Qu-6D, Qu-7Dのみ)		16入力、16出力チャンネル、48/96kHz動作			
		入出力		フルパッチ可能			
		同期/SRC		オーディオクロックソースとして割り当て可能、48kHz<>96kHz SRC			
	USBオーディオ	Qu-Drive		USB-AまたはSDカード、録音または再生			
		ステレオ録音(USB-A)		2チャンネル、WAV、48/96kHz、24bit、フルパッチ可能			
		ステレオ再生(USB-A)		1/2チャンネル、WAV、44.1/48/96kHz、16/24bit、フルパッチ可能			
		マルチトラック録音/再生(SDH)		16チャンネル96kHz、32チャンネル48kHz、24bit、WAV、フルパッチ可能			
		SDカード		SDHC、32GB、UHS-I、Class10(最大チャンネル数、48/96kHz、24bit対応)			
		USBオーディオストリーミング		USB-C接続、USB2.0Core Audio対応、Windows用ASIO/WDM			
		センド/リターン		32チャンネル、48/96kHz、24bit			
		ダイナミックレンジ		110dB			
システム	周波数レスポンス			+0/-0.5dB、20Hz~20kHz			
	THD+N			定格ゲイン、0.005%、-87dB (20Hz~20kHz)			
	ヘッドルーム			18dB			
	内部動作レベル			0dBu			
	dBFSアライメント			+18dBu=0dBFS (XLR出力時+22dBu)			
	メーターキャリブレーション			0dB メーター=-18dBFS (+4dBu 時にXLR出力)			
	ピークインジケーション			-3dBFS (+19dBu 時にXLR出力)、マルチポイントセンシング			
	サンプリングレート			96kHz			
	レイテンシー			<0.7ms、ローカルマイク入力からメインL/R			
	電源			AC100V、50/60Hz			
	消費電力		70W	75W	90W	95W	105W
寸法(W×H×D)		440×213×475mm		609×213×475mm		800×213×475mm	
質量		約10kg		約13.5kg		約16.7kg	



I/O Expander

			GX4816	DX32	DX012	DX168	DX164-W	DX88-P	AR2412	AB168	AR84	DT168	DT164-W
入力	アナログ入力	マイク/ライン入力	48(バランスXLR、+48Vファンタム電源)	★最大32(バランスXLR、+48Vファンタム電源)	—	16(バランスXLR、+48Vファンタム電源)	8(バランスユーロブロック、+48Vファンタム電源)	24(バランスXLR)	16(バランスXLR)	8(バランスXLR)	16(バランスXLR、+48Vファンタム電源)		
		入力感度	−60~+15dBu	—		−60~+15dBu			−60~+15dBu		−60~+15dBu		
		アナログゲイン	+5~+60dB、1dBステップ	—		+5~+60dB、1dBステップ		+5~+60dB、1dBステップ		+5~+60dB、1dBステップ		+5~+60dB、1dBステップ	
		パッド	−20dBアクティブパッド	—		−20dBアクティブパッド			−20dB		−20dB		−20dBアクティブパッド
		最大入力レベル	+30dBu(PAD in)	—		+30dBu(PAD in)		+30dBu	+32dBu		+30dBu(PAD in)		
		入力インピーダンス	>4kΩ(Pad out)、>10kΩ(Pad in)	—		>4kΩ(Pad out)、>10kΩ(Pad in)			>4kΩ(Pad out)、>10kΩ(Pad in)		>4kΩ(Pad out)、>10kΩ(Pad in)		
	デジタル入力	マイク等値入力ノイズ	−127dB(150Ωソース)	—		−127dB(150Ωソース)			−127dB(150Ωソース)		−127dB(150Ωソース)		−127dB(150Ωソース)
		AES3	—	★最大32(バランスXLR,110Ω)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		サンプリングレート	—	32kHz~192kHz(バイパスオプション付き)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出力	アナログ出力	ライン出力	16(バランスXLR)	★最大32(バランスXLR)	最大12(バランスXLR)	8(バランスXLR)	4(バランスユーロブロック)	8(バランスXLR)	12(バランスXLR)	8(バランスXLR)	4(バランスXLR)	8(バランスXLR)	4(バランスXLR)
		出力インピーダンス	<75Ω	<60Ω		<75Ω			<75Ω			<75Ω	
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値	+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値	
		最大出力レベル	+21dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu
	デジタル出力	残留出力ノイズ	−95dBu(ミュート、20Hz~22kHz)	−92dBu(ミュート、20Hz~20kHz)	−95dBu(22Hz~22kHz)		−92dBu(ミュート、20Hz~20kHz)	−91dBu(ミュート、20Hz~20kHz)		−91dBu(ミュート、20Hz~20kHz)		−92dBu(ミュート、20Hz~20kHz)	
		AES3	—	★最大32(バランスXLR,110Ω)	最大8(バランスXLR,110Ω)	—	—	—	—	—	—	—	—
		サンプリングレート	—	96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz切り替え可能	96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz切り替え可能	—	—	—	—	—	—	—	—
接続端子	GX Link	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	DX Link	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—
	ME/dSNAKE	—	—	—	—	—	—	3	2	—	—	—	—
	Dante	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	オプションカードスロット	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電源	100V AC、50/60Hz	100V AC、50/60Hz PSUスロット×2(リダンダント電源対応) ※出荷時は1台のみ	100V AC、50/60Hz	100V AC、50/60Hz	12V DC (外部電源)、最大3.3A	100V AC、50/60Hz	100V AC、50/60Hz		100V AC、50/60Hz	100V AC、50/60Hz		100V AC、50/60Hz	
消費電力	最大90W	最大300W(MPS16 V1 300W)* 最大250W(MPS16 V2 250W)* ※AC電源アダプターに消費電力を記載	最大35W	最大35W	最大35W	最大39.6W	最大70W	最大40W	最大20W	最大40W	最大40W	最大35W	
寸法(W×H×D)	481.6×221.5×255mm.5U (脚含むH:229.5mm)	433×177×290mm、4U	482.6×48.2×214.7mm、1U	416.55×182.1×189mm	210×210×87mm	216.5×42.8×195.4 mm	482.6×132.5×219.4mm、3U (脚含むH:136.7mm)	416.55×182.1×189mm	482.6×44×217.8mm、1U (脚含むH:48.2mm)	416.55×182.1×189mm	416.55×182.1×189mm	210×210×87mm	
質量	約8kg	約10.5kg	約2.95kg	約4.6kg	約3.2kg	約1.51kg	約5kg	約4.8kg	約3kg	約4.6kg	約3.2kg		

★モジュールの選択により構成が異なります。最大4モジュール(1モジュールあたり8ch)でアナログ入力、アナログ出力、AES3各種入出力の合計が32ch(8ch単位)となります。(→p.28)

ALLEN&HEATH



ヒビノインターラウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

<https://www.hibino-intersound.co.jp/> E-mail: info@hibino-intersound.co.jp

- 商品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 価格には、配達や設置、使用済み機器の引き取りに掛かる費用は含まれておらず。
- 商品写真は、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。